

科目名	ballet A (1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレシタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	バレエを学ぶ意味、前期目標の設定	バレエを学ぶ意味を考える
2	4月27日	講義・演習	正しい立ち方、プリエを学ぶ	自分の身体の特徴、体質を知る
3	5月11日	講義・演習	タンジュ、体重移動を学ぶ	生活の中での自分の身体の癖を考える
4	5月18日	講義・演習	タンジュ、ジュテ、足の出し方、運び方	重心、軸を日々の生活の中で意識する
5	5月25日	講義・演習	重心、軸、真ん中を感じる	歩き方、立ち方を矯正する
6	6月1日	講義・演習	身体のコアを感じ、身体を繋げる	踊る為の筋カトレーニング
7	6月8日	講義・演習	目的を明確にバーレッスンをを行う (バーレッスンのまとめ)	バレエ用語の復習
8	6月15日	講義・演習	バーレッスンからセンターへ繋げる。コア、軸の強化	自分に何が足りないかを明確にする
9	6月22日	講義・演習	美しい足捌き、身体のラインを学ぶ	自分の身体の長所短所を考え、 言語化できるようにする
10	6月29日	講義・演習	ジャンプ、ピルエットの練習	自分に合ったストレッチ、トレーニングを日々継続する
11	7月6日	講義・演習	バレエ用語を整理。すぐ反応できるよう訓練する	バレエ用語の復習
12	7月13日	講義・演習	身体の変化を感じ、自分との向き合い方を学ぶ	ストレッチ、トレーニング強化
13	8月24日	講義・演習	自分の課題を持って、バー、センターを繋げる	ストレッチ、トレーニング強化
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して踊る為の身体作りを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して人前に立つ為の メンタル作りを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋カトレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	ballet A (2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレシタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	舞台に立つ為の自分に合った身体作り、メンタル作りを学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期の復習、後期の目標設定	毎日の自分への課題を設定し、取り組む
2	10月12日	講義・演習	より深く自分の身体に向き合い、掘り下げる	自分に合ったストレッチ、トレーニング強化
3	10月19日	講義・演習	ブリエからピルエット、ジャンプの精度を上げる	足の出し方の練習
4	10月26日	講義・演習	コアから上体の使い方	上体のストレッチ強化
5	11月2日	講義・演習	コアから身体全体を繋げる	上体のトレーニング強化
6	11月16日	講義・演習	コアから踊る為の各自の課題を設定	足裏のトレーニング
7	11月23日	講義・演習	コアから踊る為の身体作り	身体の変化への気付きを持つ
8	11月30日	講義・演習	他のジャンルに繋がる身体作り	さまざまな音楽を聴き、イメージを持つ
9	12月7日	講義・演習	音楽の中で身体を最大限に使う	コアの訓練
10	12月14日	講義・演習	他のジャンルに繋がる身体作りからバレエを見直す	コアの訓練
11	12月21日	講義・演習	テクニックの確認(バーレッスン)	日々の訓練を続けての身体の変化を言語化する。
12	1月11日	講義・演習	テクニック確認(センター)	足りない点を確認
13	1月18日	講義・演習	一年を通じてのまとめ、次年度の目標設定	新しくストレッチ、トレーニングを設定
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して身体を意識して踊ることを学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してイメージを持って踊ることを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業前後のストレッチと筋カトレニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	ballet B(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で、身体の隅々までコントロールできる身体づくり。 身体の仕組みを理解し、その為の解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みを無くし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエ。						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届かせ コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(前半)	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	5月10日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(後半)	基礎トレーニング復習
3	5月17日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーの復習	基礎トレーニング復習
4	5月24日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニング復習
5	5月31日	講義・演習	バー、センター基礎と順番	基礎トレーニング復習
6	6月7日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニング復習
7	6月14日	講義・演習	バー、センター、ターンの応用	基礎トレーニング復習
8	6月21日	講義・演習	バー、センター、ジャンプの応用	基礎トレーニング復習
9	6月28日	講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの動きの基礎	基礎トレーニング復習
10	7月5日	講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	基礎トレーニング復習
11	7月12日	講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	基礎トレーニング復習
12	7月19日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	基礎トレーニング復習
13	8月23日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	基礎トレーニング復習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			youtubeなど動画を見ること	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ・レオタード・タオル				

科目名	ballet B(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で、身体の隅々までコントロールできる身体づくり。 身体の仕組みを理解し、その為の解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みを無くし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエ。						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届かせ コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー復習	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	10月11日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー応用	基礎トレーニング復習
3	10月18日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーセンター	基礎トレーニング復習
4	10月25日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニング復習
5	11月1日	講義・演習	バー、センター基礎と順番	基礎トレーニング復習
6	11月8日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニング復習
7	11月15日	講義・演習	バー、センター、ターンの応用	基礎トレーニング復習
8	11月22日	講義・演習	バー、センター、ジャンプの応用	基礎トレーニング復習
9	11月29日	講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの動きの基礎	基礎トレーニング復習
10	12月6日	講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	基礎トレーニング復習
11	12月13日	講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	基礎トレーニング復習
12	12月20日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	基礎トレーニング復習
13	1月10日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	基礎トレーニング復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			youtubeなど動画を見ること	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ・レオタード・タオル				

科目名	ballet C(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松本 絵莉子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	英国swan seaバレエ団Ballet Ruse、ユニバーサルスタジオジャパン・東京ディズニーリゾートなどでダンサーを勤め、現在は指導にあたる。						
授業の学習 内容	・ストレッチ ・バーレッスン ・センターレッスン						
到達目標	①スキルアップ ②プロフェッショナルな表現力となる為の基礎を学ぶ ③観に来た人からの評価を感じ、考える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	ディスカッションと実技	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	4月28日	講義・演習	バーレッスンを通し各生徒の個性を測る	個々に自身の個性を知り次回に活かせるようにする
3	5月12日	講義・演習	バーレッスンを進めるとともに内容を深める	身体の使い方を理解し深めてくる
4	5月19日	講義・演習	ここまで進めたバーレッスンを理解できているかを測る	わからないところを更に確認する
5	5月26日	講義・演習	バーレッスンの内容を更に深める	バーレッスンの意味を理解する
6	6月2日	講義・演習	苦手なパを練習する	自分の弱点と向き合う
7	6月9日	講義・演習	前期の折り返しとしてここまでの総括とここまでの成績判断	これからも課題を自覚してもらう
8	6月16日	講義・演習	バーレッスンとセンターレッスンを進める	回数をこなし、軸をしっかり作る
9	6月23日	講義・演習	更に練習を深める	毎回成長を自身が感じられるまで練習する
10	6月30日	講義・演習	センターレッスンの内容を深める	バーレッスンを活かしているか自覚してもらう
11	7月7日	講義・演習	センターレッスン・ジャンプの種類を覚える	ジャンプの種類を覚え、振りに活かしてもらう
12	7月14日	講義・演習	バーレッスン・センターレッスンを踊りこむ	自分自身何ができるようになったのかを自覚する
13	8月25日	講義・演習	前期の総括、成績判断日	実技演習を通した前期の総括
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる				

科目名	ballet C(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	松本 絵莉子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	英国swan seaバレエ団Ballet Ruse、ユニバーサルスタジオジャパン・東京ディズニーリゾートなどでダンサーを勤め、現在は指導にあたる。						
授業の学習 内容	・ストレッチ ・バーレッスン ・センターレッスン						
到達目標	①スキルアップ ②プロフェッショナルな表現力となる為の基礎を学ぶ ③観に来た人からの評価を感じ、考える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期への意気込みをお互いに共有する	後期の授業への取り組みを有意義なものにする
2	10月13日	講義・演習	バレエの表現をもっと考えながらレッスンする	客観的に見えるように考える
3	10月20日	講義・演習	基礎レッスンの踊りこみ	ポジションや動きの意味を理解し、深める
4	10月27日	講義・演習	自身の苦手なところを練習する	自分自身を理解する
5	11月3日	講義・演習	基礎レッスンの内容を深める	更に新しい事を覚えていく
6	11月17日	講義・演習	ステージへの謙虚な姿勢を忘れないための講義・演習をする	スタッフ・ステージへの真摯な姿勢を身に着ける
7	11月24日	講義・演習	後期の折り返しとして、ここまでの成績判断	これまでの総括を考えこれからの課題を自覚してもらう
8	12月1日	講義・演習	身体の使い方を忘れずテクニック練習	自分自身で成長が感じられるまでやりこむ
9	12月8日	講義・演習	オーディションなども想定し練習する	客席を意識し何を伝えなきゃいけないかを考え動く
10	12月15日	講義・演習	更にテクニック練習をする	苦手なところを更にやりこむ
11	1月12日	講義・演習	オーディション本番を意識し、最終チェック	パフォーマンスのクオリティを当日一番いい所に持って行く努力をする
12	1月19日	講義・演習	最終調整日	今までの成長を自身で感じられるようにする
13	2月2日	講義・演習	後期の総括。成績判断日	実技演習を通じた後期の総括
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してバレエの大切さを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してバレエの大切さを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる				

科目名	ballet D(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト、 下島功佐・田中りなバレエアカデミー主宰、株式会社KRstudio代表取締役						
授業の学習 内容	① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が多いため、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。 ② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。 ③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。 ④ 柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得のためのバーレッシン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッシン(バーレッシン、センターレッシン、共に音楽に合わせて行う)						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。 最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	前屈ストレッチ、横開脚ストレッチ、縦開脚ストレッチ、 下半身の筋肉のストレッチ(大臀筋、腓腹筋等)	知っているストレッチをやっておく。
2	4月24日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン プリエ。身体をまっすぐにたてる意識を持つ事を重点的に。	1で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 手のポジション、足のポジションの復習。
3	5月8日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン タンジュとジュテ。自分の前横後ろへ身体がぶれずに真っ直ぐに足を出せる事を重点的に。	2で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 プリエの復習。
4	5月15日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン タンジュとジュテ。足の指、ドゥミをきちんと使えるように意識することを重点的に。	3で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 タンジュ、ジュテの復習。
5	5月22日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン ロンデジャンプ。前横後ろのタンジュを連続して繋いで動かす事を覚える、動かすときに身体、腰がブレない事を意識して。パッセの説明。	4で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 タンジュ、ジュテの復習。
6	5月29日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン、センターレッシン フォンデュ。片足のプリエ、及びクベの形を理解、習得	5で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 ロンデジャンプ、パッセの復習。
7	6月5日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン、センターレッシン フラッペ。体幹がブレずに音、リズムに合わせてはっきりと素早く足を動かせる。	6で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 フォンデュ、クベの復習。
8	6月12日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン、センターレッシン アダジオとグランバットマン。タンジュを通して足を高く上げ、キープ出来るように。素早く高く上げられるように。	7で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 フラッペの復習。
9	6月19日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン、センターレッシン アダジオとグランバットマン。デベロップの習得。	8で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 アダジオ、グランバットマンの復習。
10	6月26日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン、センターレッシン ルルベの確認。	9で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 デベロップの復習。
11	7月3日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン、センターレッシン スシュとエシャッペの説明。	10で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 ルルベの復習。
12	7月10日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、バーレッシン、センターレッシン シャンジュマンの説明。	11で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 スシュとエシャッペの復習。
13	8月21日	講義・演習	試験 12までのバーレッシン及び センターレッシンの内容に対する理解力の確認。	12で学んだストレッチ、筋カトレーニング。 シャンジュマンの復習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋カトレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル				

科目名	ballet D(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト、 下島功佐・田中りなバレエアカデミー主宰、株式会社KRstudio代表取締役						
授業の学習 内容	① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。 ② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。 ③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。 ④ 柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得のためのバーレッシン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッシン(バーレッシン、センターレッシン、共に音楽に合わせて行う)						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。 最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン センターレッシンでの角度、身体の向き説明、エファセ、クロワゼ、エカルテ 等。	前期に学んだストレッチ、筋力トレーニング。
2	10月9日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン バーを使わずに体幹を保ってタンジュ、グランバットマンと片足でパッセのバ ランス。	1で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 センターレッシンでの身体の向き、角度の復習。
3	10月16日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン 回転をする時の首から上、顔の使い方、アンデタンとアンデオールのビルエ ットの説明と実践。	2で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 センターでのタンジュ、グランバットマン、パッセのやり方の復習。
4	10月23日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン バーを使わずにアダジオ、デペロップの実践。	3で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 ビルエットのアンデオールとアンデタンの違いの復習。
5	10月30日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン センターでのスシュとエシャッペ、スモールジャンプ(ジャンジュマンやスー プルゾーなど)前後左右に動かないその場でやるもの、の説明と実践。	4で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 センターレッシンでのアダジオの復習。
6	11月6日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン グリッサードとアッサンブレの説明と実践。	5で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 スシュ、エシャッペとスモールジャンプの復習。
7	11月13日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン 5.6.7の内容を応用したコンビネーション	6で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 グリッサードとアッサンブレの復習。
8	11月20日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン 大きなジャンプ、グランワルツ、基本的なコンビネーションで。	7で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 アレグロジャンプの復習。
9	11月27日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン グランワルツを少し複雑なコンビネーションで。	8で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 グランワルツの復習。
10	12月4日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン シェネ、ピケアンデタン等、早い回転の連続技の説明と実践。	9で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 グランワルツの復習。
11	12月11日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン シェネとピケアンデタンのコンビネーション。	10で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 シェネとピケアンデタンの復習。
12	12月18日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン ジャンプをしながらの回転技、ソデバスク、ザンレール等への挑戦。	11で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 連続回転コンビネーションの復習。
13	1月15日	講義・演習	試験 後期12までのバーレッシン及び センターレッシンの内容に対する理解力の確認	12で学んだストレッチ、筋力トレーニング。 ソデバスク、ザンレールのやり方の復習。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル				

科目名	JAZZ&Choreographer(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2000年劇団四季入所。『ライオンキング』エド役、『CATS』カーバケットティ役 其他多数出演 JAZZ・HIPHOPなど多数ジャンルの講師も務める。コレオグラファー・脚本家・演出家としても活躍中。						
授業の学習 内容	受講生本人が習得したダンススキルを、どのように生かし表現していくのかを具体的にするための実技演習授業。 親にきたお客さんの心を動かすためにはどうすれば良いかを常に考え、実際に作品を課題として与えて発表してもらいます。 ステージ人としてのプロフェッショナルなフィジカルとメンタルの習得だけでなく、謙虚で真摯な姿勢で、作品や演目に向き合える 本物のプロを目指します。						
到達目標	①振り付けられたものを発表をする ②お互いのパフォーマンスを見て、感じ、考える ③自分の中に、プロフェッショナルな表現者となる為の礎を築く						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	実技・ディスカッション	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	5月10日	講義・演習	実技・基礎の見極め	それぞれが自分に足りないものを知り、 習得する意識を持つ
3	5月17日	講義・演習	実技・基礎練習・振付	与えられた振付を次回までにしっかり覚えてくる
4	5月24日	講義・演習	実技・振付への取り組み	振付をしっかりと踊れるよう、自己を洗練させる
5	5月31日	講義・演習	実技・振付けされたものを踊り込み深める	振付作品との向かい合い方を知り深める
6	6月7日	講義・演習	実技・振付内にステージング要素を盛り込む	ステージングによる効果と意味を実感する
7	6月14日	講義・演習	実技・自己総括①	ここまでの自分を省みて自分への課題をつくる
8	6月21日	講義・演習	実技・苦手部分の克服と取り組み	自分の弱点の克服に努め、 次回までに成長を見せられよう取り組む
9	6月28日	講義・演習	実技・踊り込み	踊り込みで得たものを臍に落としてくる
10	7月5日	講義・演習	実技・踊り込み・発表	お互いの発表を見て、 自分の生かせるような発見をする
11	7月12日	講義・演習	実技・発表	今までの練習がどれだけ身についたのか ハッキリ考える
12	7月19日	講義・演習	実技・自己総括②・ディスカッション	総括①の時との変化を考える
13	8月23日	講義・演習	実技・前期総括・ディスカッション	前期を通して自分が身につけたものを知り、 後期への課題を見つける
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		①基礎力アップの取り組み(柔軟性を高めるためのストレッチなど) ②Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	JAZZ&Choreographer(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2000年劇団四季入所。『ライオンキング』エド役、『CATS』カーバケッティ役 其他多数出演 JAZZ・HIPHOPなど多数ジャンルの講師も務める。コレオグラファー・脚本家・演出家としても活躍中。						
授業の学習 内容	受講生本人が習得したダンススキルを、どのように生かし表現していくのかを具体的にするための実技演習授業。 観てきたお客さんの心を動かすためにはどうすれば良いかを常に考え、実際に作品を課題として与えて発表してもらいます。 ステージ人としてのプロフェッショナルなフィジカルとメンタルの習得だけでなく、謙虚で真摯な姿勢で、作品や演目に向き合える 本物のプロを目指します。						
到達目標	①振り付けられたものを発表をする ②お互いのパフォーマンスを見て、感じ、考える ③自分の中に、プロフェッショナルな表現者となる為の礎を築く						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	実技・ディスカッション	後期の意識、課題の確認
2	10月11日	講義・演習	実技・振付・基礎力向上プログラム	後期の自分に必要なスキルを見据えて トレーニングする
3	10月18日	講義・演習	実技・振付	覚えた振付をしっかりと入れてくる
4	10月25日	講義・演習	実技・振付・踊り込み	出来なかった事の確認
5	11月1日	講義・演習	実技・振付・実践的感覚の向上	授業で学んだことを踏まえ、意識を高くもつ
6	11月8日	講義・演習	実技・踊り込み	振付を深め、府に落とす
7	11月15日	講義・演習	実技・自己総括①	後期半分が終わったことを自覚し、自分を見つめる
8	11月22日	講義・演習	実技・グループ分け・踊り込み	各グループ、個性を各々で見いだし、伸ばす
9	11月29日	講義・演習	実技・ディスカッション	振付を深めると共に、グループ毎の個性を伸ばす
10	12月6日	講義・演習	実技・踊り込み・発表	グループ発表を通し、それぞれ最後の追い込みをする
11	12月13日	講義・演習	実技・発表	本番を想定した発表を通し、実力を発揮できたか省みる
12	12月20日	講義・演習	実技・自己総括②	自己総括①からの変化を考える
13	1月10日	講義・演習	実技・1年間の総括・ディスカッション	前後期を通して自分が身につけたものを知り、 来年度への課題を見つける
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		①基礎力アップの取り組み(柔軟性を高めるためのストレッチなど) ②Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	JAZZ A (1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JAZZ指導歴11年						
授業の学習 内容	JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	授業の進め方の説明。卒業までの目標確認。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	4月28日	講義・演習	身体の引き上げの理解し、ターンの練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	5月12日	講義・演習	連続ターンの練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	5月19日	講義・演習	ターンに応用を加える。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	5月26日	講義・演習	ピルエットの説明、練習開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	6月2日	講義・演習	ピルエットの回る回数を増やす。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	6月9日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	6月16日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	6月23日	講義・演習	ターンコンビネーションに応用を加える。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	6月30日	講義・演習	ターンコンビネーション応用の習得の練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	7月7日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	7月14日	講義・演習	実技テストの課題練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	8月25日	講義・演習	実技テスト。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル等				

科目名	JAZZ A (2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JAZZ指導歴11年						
授業の学習 内容	プロとして必要なJAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。各自の目標体重、なりたい体型になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化①	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	10月13日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	10月20日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化③	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	10月27日	講義・演習	学んだ事を取り入れた振付け開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	11月3日	講義・演習	振付けの踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	11月17日	講義・演習	振付の応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	11月24日	講義・演習	4週目からの振付けの発表	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	12月1日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付け開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	12月8日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	12月15日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	1月12日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	1月19日	講義・演習	試験準備	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	2月2日	講義・演習	試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル等				

科目名	フィジカルトレーニング(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	小島拓也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオ レッスンインストラクター 10年 スポーツクラブ レッスンインストラクター 5年						
授業の学習 内容	1 身体づくりのためのトレーニング方法 解剖学・食事・睡眠・運動(筋力トレーニング)を基礎から理解する。 2 ダンス・アクロバット・役者 などを目指すための体の基盤を作る。 3 自分の思い描く理想の身体を作り日々の習慣にする。 授業は解剖学(筋肉の仕組みや動き)を理解する事から初め、実際にその部位を動かし身体を使うということを体感する。 合間に人体のメカニズムや体作りに大切となる雑学などを説明する。						
到達目標	学生自身が授業で学んだことを習慣にし、自分で自分の身体をコントロールできるように 運動・食事・睡眠・メンタル面 等の必要性を実感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	クラスの説明・身体づくりの重要性・(解剖学)お腹トレーニング・(雑学)食事	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
2	5月10日	講義・演習	前回の復習～脚(前) トレーニング・ホルモンについて	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
3	5月17日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・食事	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
4	5月24日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
5	5月31日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・運動するメリット	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
6	6月7日	講義・演習	前回の復習～脚(後) トレーニング・歪みとバランス	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
7	6月14日	講義・演習	前回の復習～全身(逆転) トレーニング・呼吸法	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
8	6月21日	講義・演習	前回の復習～お腹 トレーニング・習慣化	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
9	6月28日	講義・演習	前回の復習～脚(全) トレーニング・メンタル	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
10	7月5日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・機能解剖学・復習	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
11	7月12日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・食事&運動&睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
12	7月19日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・食事&運動&睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
13	8月23日	講義・演習	総復習(トレーニングと雑学)『テスト』	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			次の授業までに、前回の授業の復習授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。	
【使用教科書・教材・参考書】				
筋肉のしくみ・はたらき事典				

科目名	フィジカルトレーニング(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	小島拓也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオ レッスンインストラクター 10年 スポーツクラブ レッスンインストラクター 5年						
授業の学習 内容	1 身体づくりのためのトレーニング方法 解剖学・食事・睡眠・運動(筋力トレーニング)を基礎から理解する。 2 ダンス・アクロバット・役者 などを目指すための体の基盤を作る。 3 自分の思い描く理想の身体を作り日々の習慣にする。 授業は解剖学(筋肉の仕組みや動き)を理解する事から初め、実際にその部位を動かし身体を使うということを体感する。 合間に人体のメカニズムや体作りに大切となる雑学などを説明する。						
到達目標	学生自身が授業で学んだことを習慣にし、自分で自分の身体をコントロールできるように 運動・食事・睡眠・メンタル面 等の必要性を実感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	クラスの説明・身体づくりの重要性・(解剖学)お腹トレーニング・(雑学)食事②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
2	10月11日	講義・演習	前回の復習～脚(前) トレーニング・ホルモンについて②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
3	10月18日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・食事②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
4	10月25日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
5	11月1日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・運動するメリット②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
6	11月8日	講義・演習	前回の復習～脚(後) トレーニング・歪みとバランス②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
7	11月15日	講義・演習	前回の復習～全身(逆転) トレーニング・呼吸法②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
8	11月22日	講義・演習	前回の復習～お腹 トレーニング・習慣化②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
9	11月29日	講義・演習	前回の復習～脚(全) トレーニング・メンタル②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
10	12月6日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・機能解剖学・復習②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
11	12月13日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・食事&運動&睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
12	12月20日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・食事・運動&睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
13	1月10日	講義・演習	総復習(トレーニングと雑学)『テスト』	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			次の授業までに、前回の授業の復習授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。	
【使用教科書・教材・参考書】				
筋肉のしくみ・はたらき事典				

科目名	VT A (1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハシンセのインストラクターとなり日本放送ヤマハの番組を務める。独自のバンド活動始めるかたわら多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。						
授業の学習 内容	歌う時の姿勢、複式呼吸の強化、筋肉のトレーニング、発声に必要なリップロール、タンギングなどを活用して呼吸を重視しより自分にあった発声を身に着ける。						
到達目標	歌うための身体作りや半音・スケールを身に付けて音感を習得し歌うための表現力を身に着け歌うための技術のレベルアップを達成してもらいたい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	1年間の授業内容の説明とプリント配布	プリントの解読
2	4月24日	講義・演習	姿勢、逆複式呼吸のおさらいと実践	姿勢・逆複式呼吸のおさらい
3	5月8日	講義・演習	歌う時の筋肉の使い方のおさらいと実践	筋肉トレーニング
4	5月15日	講義・演習	1～3週の復習と、一人ずつワンコーラス歌を発表	1～3週の復習 発表曲のおさらい
5	5月22日	講義・演習	腹筋強化のトレーニング スケールのトレーニング	腹筋強化・スケールのおさらい
6	5月29日	講義・演習	身体の中で声を鳴らすトレーニング・スケールのトレーニング	響かす・スケールのおさらい
7	6月5日	講義・演習	鼻を響かすアミンのトレーニング・スケールのトレーニング	アミン・スケールのおさらい
8	6月12日	講義・演習	5～7週の復習と、一人ずつワンコーラス歌を発表	5～7週の復習 発表曲のおさらい
9	6月19日	講義・演習	ハミング・リップロールのトレーニング・半音のトレーニング	ハミング・リップロール・半音おさらい
10	6月26日	講義・演習	タンギングの実践と強化・半音のトレーニング	タンギング・半音のおさらい
11	7月3日	講義・演習	母音の響きを均一にする発声練習 半音のトレーニング	母音・半音のおさらい
12	7月10日	講義・演習	9～11週の復習・一人ずつワンコーラス歌を発表	9～11週の復習 発表曲のおさらい
13	8月21日	講義・演習	前期の授業確認	前期の復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してを伝わる声の出し方を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス能力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	VT A (2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハシンセのインストラクターとなり日本放送ヤマハの番組を務める。独自のバンド活動始めるかたわら多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。						
授業の学習 内容	歌う時の姿勢、複式呼吸の強化、筋肉のトレーニング、発声に必要なリップロール、タンギングなどを活用して呼吸を重視しより自分にあった発声を身に着ける						
到達目標	歌うための身体作りや半音・スケールを身に付けて音感を習得し歌うための表現力を身に着け歌うための技術のレベルアップを達成してもらいたい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の各自の目標制作	後期の目標確認
2	10月9日	講義・演習	一人ずつフルコーラス歌を発表	発表曲のおさらい
3	10月16日	講義・演習	前期のすべてのおさらい	前期の確認
4	10月23日	講義・演習	呼吸法のトレーニング① リズムトレーニング①	呼吸法・リズムのおさらい
5	10月30日	講義・演習	呼吸法のトレーニング② ポルタメントの実践	呼吸法・ポルタメントのおさらい
6	11月6日	講義・演習	4～5週の復習と、一人ずつフルコーラス歌を発表	4～5週の復習 発表曲のおさらい
7	11月13日	講義・演習	腹筋強化つま先立ちトレーニング①	つま先立ちのおさらい
8	11月20日	講義・演習	腹筋強化肩甲骨トレーニング②	肩甲骨のおさらい
9	11月27日	講義・演習	腹筋強化肩回しトレーニング③	肩回しのおさらい
10	12月4日	講義・演習	7～9週の復習と一人ずつフルコーラス歌を発表	7～9週の復習 発表曲のおさらい
11	12月11日	講義・演習	1年間のまとめ 前半	前半のおさらい
12	12月18日	講義・演習	1年間のまとめ 後半	後半のおさらい
13	1月15日	講義・演習	最後の歌の発表	発表曲のおさらい
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してアピールポイントを学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	VT B(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	藤田統子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ヴォーカルトレーナー歴17年(2006年～)						
授業の学習 内容	①アーティストとして生きていく上での基礎的な知識と体力と考察力を身につける。 ②歌唱トレーニング及び発声等の基礎トレーニング。 ③どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけてほしい。 ④ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、そしてアーティストとしての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方などを身につける。 オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。						
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	各々の憧れのアーティスト像について語る 歌う姿勢の確認、腹式呼吸、各々の音域チェックと目標決め	授業内容の復習・自主トレ
2	4月27日	講義・演習	腹式呼吸・発声練習 ※毎時間やるため以下記入省略 課題曲①-1(邦楽) 【課題】正確な音程がとれるようになる。	授業内容の復習・自主トレ
3	5月11日	講義・演習	課題曲①-2(邦楽) 【課題】正確な音程がとれるようになる。	授業内容の復習・自主トレ
4	5月18日	講義・演習	課題曲①-3(邦楽) 【課題】正確な音程がとれるようになる。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
5	5月25日	講義・演習	課題曲②-1(邦楽) 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
6	6月1日	講義・演習	課題曲②-2(邦楽) 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
7	6月8日	講義・演習	課題曲②-3(邦楽) 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
8	6月15日	講義・演習	課題曲③-1(邦楽) 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
9	6月22日	講義・演習	課題曲③-2(邦楽) 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
10	6月29日	講義・演習	課題曲③-3(邦楽) 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
11	7月6日	講義・演習	討論 ・前期に学んだことについて何を身につけてたかを話し合う。 ・定期テストの説明と、テストへ向けてのチーム分け編成。	授業内容の復習・自主トレ
12	7月13日	講義・演習	定期テスト発表会の練習 ・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
13	8月24日	講義・演習	定期テスト ・前期に出された課題曲の中でチームに分かれて自由に振りを付け、発表。順位決め。 ・授業内容が活かされているかチェック	授業内容の復習・自主トレ
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現の幅を学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して表現する際の集中力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			毎時間ごと、進行具合によって課題が変わり、それぞれの努力次第ではさらに課題が増えていくので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	VT B(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	藤田統子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ヴォーカルトレーナー歴17年(2006年～)						
授業の学習 内容	①アーティストとして生きていく上での基礎的な知識と体力と考察力を身につける。 ②歌唱トレーニング及び発声等の基礎トレーニング。 ③どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけてほしい。 ④ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、そしてアーティストとしての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方などを身につける。 オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。						
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	腹式呼吸・発声練習 ※毎時間やるため以下記入省略 前期のおさらいとレベルチェック(自由曲)	授業内容の復習・自主トレ
2	10月12日	講義・演習	課題曲④-1(邦楽) 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
3	10月19日	講義・演習	課題曲④-2(邦楽) 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
4	10月26日	講義・演習	課題曲④-3(邦楽) 【課題】ハモリを理解・表現する。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
5	11月2日	講義・演習	課題曲⑤-1(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)	授業内容の復習・自主トレ
6	11月16日	講義・演習	課題曲⑤-2(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)	授業内容の復習・自主トレ
7	11月23日	講義・演習	課題曲⑤-3(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音) 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
8	11月30日	講義・演習	課題曲⑥-1(ミュージカルソング) 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
9	12月7日	講義・演習	課題曲⑥-2(ミュージカルソング) 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
10	12月14日	講義・演習	課題曲⑥-3(ミュージカルソング) 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
11	12月21日	講義・演習	討論 ・前期に学んだことについて何を身につけてたかを話し合う。 ・定期テストの説明と、テストへ向けてのチーム分け編成。(グループでやるかソロでやるかは学生が決める。)	授業内容の復習・自主トレ
12	1月11日	講義・演習	定期テスト発表会の練習 ・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
13	1月18日	講義・演習	定期テスト ・自由曲の発表。順位決め。 ・授業内容が活かされているかチェック。	授業内容の復習・自主トレ
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現の幅を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現する際の集中力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			毎時間ごと、進行具合によって課題が変わり、それぞれの努力次第ではさらに課題が増えていくので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	HIP HOP A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師歴14年、現役ダンサーとしても活動中。						
授業の学習 内容	①HIPHOPがストリートダンス全般に通じていて必須であるため ②ストリートダンス全般 ③ダンスの根底にあるリズム感やHIPHOPの踊り方を身に着ける ④基礎力向上						
到達目標	HIPHOPのリズム感や音楽のノリ方を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ダウンとアップのリズム基礎	基礎練・身体作り
2	5月10日	講義・演習	ダウンとアップのリズム基礎2	基礎練・身体作り
3	5月17日	講義・演習	ダウンとアップのリズム基礎3	基礎練・身体作り
4	5月24日	講義・演習	ダウンとアップのリズム応用	基礎練・身体作り
5	5月31日	講義・演習	ダウンとアップのリズム応用2	基礎練・身体作り
6	6月7日	講義・演習	ダウンとアップのリズム応用3	基礎練・身体作り
7	6月14日	講義・演習	アイソレーション基礎	基礎練・身体作り
8	6月21日	講義・演習	アイソレーション基礎2	基礎練・身体作り
9	6月28日	講義・演習	アイソレーション応基礎3	基礎練・身体作り
10	7月5日	講義・演習	アイソレーション応用	基礎練・身体作り
11	7月12日	講義・演習	アイソレーション応用2	基礎練・身体作り
12	7月19日	講義・演習	アイソレーション応用3	基礎練・身体作り
13	8月23日	講義・演習	前期総合	基礎練・身体作り
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してHIPHOP基礎を学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してリズム感を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHIPHOPを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師歴14年、現役ダンサーとしても活動中。						
授業の学習 内容	①前期に学んだことを伸ばす ②ストリートダンス全般 ③音楽や歴史も学んで欲しい ④楽曲などにも話を持って行ってさらに興味を持ってもらう						
到達目標	一年で学んだことをしっかり次年度に生かせるよう染み込ませる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	前期基礎向上	基礎練・身体作り
2	10月11日	講義・演習	前期基礎向上2	基礎練・身体作り
3	10月18日	講義・演習	前期基礎向上3	基礎練・身体作り
4	10月25日	講義・演習	リズムトレーニングとアイソレーション組み合わせ基礎	基礎練・身体作り
5	11月1日	講義・演習	リズムトレーニングとアイソレーション組み合わせ基礎2	基礎練・身体作り
6	11月8日	講義・演習	リズムトレーニングとアイソレーション組み合わせ基礎3	基礎練・身体作り
7	11月15日	講義・演習	リズムトレーニングとアイソレーション組み合わせ応用	基礎練・身体作り
8	11月22日	講義・演習	リズムトレーニングとアイソレーション組み合わせ応用2	基礎練・身体作り
9	11月29日	講義・演習	リズムトレーニングとアイソレーション組み合わせ応用3	基礎練・身体作り
10	12月6日	講義・演習	基礎を用いた振り付けメイン	基礎練・身体作り
11	12月13日	講義・演習	基礎を用いた振り付けメイン2	基礎練・身体作り
12	12月20日	講義・演習	一年間の総合	基礎練・身体作り
13	1月10日	講義・演習	一年間の総合2	基礎練・身体作り
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してHIPHOPの高度な技術を学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してHIPHOPに大事なことは何か学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHIPHOPを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	滑川裕紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・ダンスインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力の向上。安定してリズムが取れ、自分の身体をコントロールする。</li> <li>・ダンス全般の基礎となる身体作りも兼ねる。</li> <li>・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養いたい。</li> <li>・基礎トレーニングを基盤にしつつ、振付での応用を行なっていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。</li> <li>・身体をコントロールするための身体作り。</li> <li>・素早く振付を覚える。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	基礎中心の身体作り	アイソレーション/リズムトレーニング
2	4月28日	講義・演習	基礎中心の身体作り/体幹重視	体幹トレーニング
3	5月12日	講義・演習	基礎中心の身体作り/振付指導	アイソレーション/体幹トレーニング
4	5月19日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ/振付指導	ボディコントロールトレーニング
5	5月26日	講義・演習	自分の体を理解する/振付指導	重心移動の意識
6	6月2日	講義・演習	ボディコントロール/振付指導	ボディコントロール重視
7	6月9日	講義・演習	基礎的なリズムキープ/振付指導	様々なBPMでリズムキープ
8	6月16日	講義・演習	基礎的なアイソレーション/振付指導	アイソレーションでアクセントを取る
9	6月23日	講義・演習	振付メイン/振りを正しく覚える	振付復習/リズムキープ
10	6月30日	講義・演習	振付メイン/振りを間違えずに踊る	振付復習/アイソレーション
11	7月7日	講義・演習	振付メイン/自分の弱みを理解する	映像で自分の踊りをチェック
12	7月14日	講義・演習	自分の弱点を補うための講義	課題を見つける為に、自己分析
13	8月25日	講義・演習	弱点を理解した上で、意識して踊る	自分の踊りを理解するように自己分析
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して振付を学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して振付を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		youtubeなどでHIPHOPを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	滑川裕紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・ダンスインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力の向上。安定してリズムが取れ、自分の身体をコントロールする。</li> <li>・ダンス全般の基礎となる身体作りも兼ねる。</li> <li>・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養いたい。</li> <li>・基礎トレーニングを基盤にしつつ、振付での応用を行なっていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。</li> <li>・振付を自分の踊りに変換して、個性を出して踊ることができる。</li> <li>・素早く振付を覚える。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	基礎の応用/音をしっかりと聞く	基礎を徹底的に反復練習
2	10月13日	講義・演習	リズム+ステップ/アクセントを取る	ステップを入れながらリズムキープ
3	10月20日	講義・演習	基礎の向上/振付でメロディを取る	身体作り/トレーニング
4	10月27日	講義・演習	アイソレ+リズム/踊りに抑揚をつける	色々な意識で音楽を聴くようにする
5	11月3日	講義・演習	楽曲を理解して、振付を踊る。	振付の復習/反復して音楽を聴く
6	11月17日	講義・演習	リズム強化/歌詞を理解して踊る。	様々な方法でリズムキープ
7	11月24日	講義・演習	アイソレ強化/表現力をつける。	様々なやり方でアイソレーション練習
8	12月1日	講義・演習	リズム応用/振付を理解する。	振付練習/リズムキープ
9	12月8日	講義・演習	アイソレ応用/振付に沿って自分を出す	自分の踊りを確認・練習
10	12月15日	講義・演習	表現力の向上/振付を考えてみる。	自分にあった楽曲を選ぶ
11	1月12日	講義・演習	流れに沿って、振付を作ることを学ぶ	曲に合わせて振付を作ってみる
12	1月19日	講義・演習	踊りで自分を表現することを学ぶ。	自分に一番合う踊りを研究する
13	2月2日	講義・演習	総合的なダンス表現を身につける	実践し、研究を繰り返して、自分を見つめる
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		youtubeなどでHIPHOPを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	Girls HIPHOP&コンテンポラリー(1) Girls HIP HOP A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	文元杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Girls hiphop指導歴25年						
授業の学習 内容	HipHop,R&B,Reggae,Jpop,Kpopなど様々なジャンルのダンスを学び、昨今のジャンルレス、ジェンダーレスなコレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学び、実際に振り付けを踊り表現力を磨く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	授業内容を把握する	授業に対する心構え
2	4月27日	講義・演習	アイソレーションの理解、基礎の動きを使った振り付け	ストレッチの流れを復習
3	5月11日	講義・演習	しなやかな動きの理解、アイソレーション、振り付け	アイソレーションの復習
4	5月18日	講義・演習	腰の動き、リズムどりを理解する	前回の振り付けの復習
5	5月25日	講義・演習	リズム、パワフルな振り付けを踊る	課題曲を聞いておく
6	6月1日	講義・演習	前回の振り付けのパワフルさの表現力をつける	復習しておく
7	6月8日	講義・演習	前回の振り付けを正確に踊りつつ、自分らしさをだす	復習しておく
8	6月15日	講義・演習	ヒールで基礎練習、ウォーキングができる	ヒールを用意する
9	6月22日	講義・演習	ヒールをはいて基礎ができる、振りを覚える	課題曲を聞いておく
10	6月29日	講義・演習	ヒールをはいてセクシーな振り付けを踊る	振り付けの復習
11	7月6日	講義・演習	前期学んだことを確認	課題曲を聞いておく
12	7月13日	講義・演習	テストの課題曲の振り付けを覚える	課題曲を聞いておく
13	8月24日	講義・演習	テスト	振り付けの復習
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでGirlsHiphopを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	Girls HIPHOP&コンテンポラリー(1) コンテンポラリー(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①コンテンポラリーダンスは高い柔軟性と強い体幹が必然です。つまりあらゆるダンスの動きに適用する身体になるという事。 ②バレエ、テーマパーク、ジャズダンス等に応用可能。 ③最初は、ポジション、ムーブメントなど分からない事ばかりですが、継続することでダンサーの身体になっていきます。 ④コンテンポラリーダンスの基礎とポジション、ダンスクラシックの理解。姿勢、骨と筋肉の正しい使い方を学ぶ。						
到達目標	初歩的な身体構造の理解。正しい姿勢、骨と筋肉の使い方を習得する。目標→インナーマッスルの理解。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	オリエンテーションと身体の骨と筋肉の説明と理解。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
2	4月27日	講義・演習	①腸腰筋の引き上げと正しい姿勢。立ち方。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
3	5月11日	講義・演習	②インナーマッスルの理解と応用。①の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
4	5月18日	講義・演習	③フロアエクササイズとストレッチの理解。①～②の反復	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
5	5月25日	講義・演習	④センターエクササイズとストレッチの理解。 ①～③の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
6	6月1日	講義・演習	⑤クロスフロアステップの理解。①～④の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
7	6月8日	講義・演習	⑦コンビネーションの理解。①～⑤の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
8	6月15日	講義・演習	⑧クロスフロアステップの基礎。①～⑦の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
9	6月22日	講義・演習	⑨コンビネーションの基礎。①～⑧の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
10	6月29日	講義・演習	⑩クロスフロアの応用。①～⑨の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
11	7月6日	講義・演習	⑪コンビネーションの応用。①～⑩の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
12	7月13日	講義・演習	⑫動きとインナーマッスル繋がりの理解。 ①～⑪の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
13	8月24日	講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内容を理解力、確認して、自身のスキルアップを計画的に考えて復習、ストレッチ等反復をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体のラインが見える物。裸足or靴下。				

科目名	Girls HIPHOP&コンテンポラリー(2) Girls HIP HOP A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	文元杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Girls hiphop指導歴25年						
授業の学習 内容	HipHop,R&B,Reggae,Jpop,Kpopなど様々なジャンルのダンスを学び、昨今のジャンルレス、ジェンダーレスな コレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学び、実際に振り付けを 踊り表現力を磨く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	リズム、ニュアンスのある動きを理解する	体幹を鍛えておく
2	10月12日	講義・演習	振り付けを覚え、自分らしさを引き出す	前回の復習をしておく
3	10月19日	講義・演習	振り付けをセクシーに踊る	前回の復習をしておく
4	10月26日	講義・演習	アイソレーション、リズムを再確認	課題曲を聞いておく
5	11月2日	講義・演習	振り付けにフォーメーションをつけて踊る	前回の復習をしておく
6	11月16日	講義・演習	ヒールでウォーキングができる	課題曲を聞いておく
7	11月23日	講義・演習	振り付けをヒールをはいて踊る	前回の復習をしておく
8	11月30日	講義・演習	イスを使った振り付けを理解する	課題曲を聞いておく
9	12月7日	講義・演習	イスを使った振り付けに表現力をつける	前回の復習をしておく
10	12月14日	講義・演習	イスを使った振り付けを自分らしく正確に踊る	前回の復習をしておく
11	12月21日	講義・演習	アイソレ、リズム、ウォーキングの再確認	課題曲を聞いておく
12	1月11日	講義・演習	前回の振り付けに表現力をつける	前回の復習をしておく
13	1月18日	講義・演習	テスト	前回の復習をしておく
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでGirlsHiphopを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	Girls HIPHOP&コンテンポラリー(2) コンテンポラリー(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①体の中心軸(背骨を中心した骨盤、胸郭、頭の正しい位置)とインナーマッスルの使い方を理解してアカデミックな動きに繋げる。 ②バレエ、テマパーク、ジャズダンス等に应用可能。 ③正しいダンサーの身体になる為の内側の骨と筋肉の使い方に気づいて欲しい。 ④コンテンポラリーダンスのポジション、ダンスクラシックの理解。呼吸法、姿勢、骨とインナーマッスルの正しい使い方を学ぶ。メンタル講義を行う。						
到達目標	体幹軸を習得する事で、アカデミックな動きに対応出来、正しい骨とインナーマッスルの使い方を目指しメンタル面の強化。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	①身体の骨とインナーマッスルの確認と内転筋の理解。	前期のレッスン経験の確認。
2	10月12日	講義・演習	②腸腰筋の引き上げと内転筋を繋がるの理解。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
3	10月19日	講義・演習	③フロアセンターエクササイズ、ストレッチの確認と理解。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
4	10月26日	講義・演習	①、②、③の反復。ステップ、コンビネーションの理解。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
5	11月2日	講義・演習	①、②、③の反復。ステップ、コンビネーションの反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
6	11月16日	講義・演習	①、②、③の反復。ステップ、コンビネーションの反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
7	11月23日	講義・演習	①、②、③の応用。ステップ、コンビネーションの応用。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
8	11月30日	講義・演習	①、②、③の応用。ステップ、コンビネーションの応用。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
9	12月7日	講義・演習	①、②、③の応用。ステップ、新コンビネーションの理解。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
10	12月14日	講義・演習	①、②、③の応用。ステップ、新コンビネーションの反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
11	12月21日	講義・演習	①、②、③の安定。ステップ、新コンビネーションの応用。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
12	1月11日	講義・演習	成長のプロセスのメンタル講義(日程変更あり)	筆記用具持参。復習、理解。
13	1月18日	講義・演習	ポジティブ、ネガティブのメンタル講義(日程変更あり)	筆記用具持参。復習、理解。
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内容を理解力、確認して、自身のスキルアップを計画的に考えて復習、ストレッチ等反復をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体のラインが見える物。裸足or靴下。				

科目名	オールドスクール(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役ダンサーとして活動中。						
授業の学習 内容	STREETDANCEの中のOLD SCHOOL(主に1960～1990年代)について学ぶ、実践する。						
到達目標	時代による様々なスタイルのダンスの特徴や考え方、様式を理解し、自ら体現出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	文化知識、ジャンルの説明、身体作り	身体づくり、ストレッチ
2	4月24日	講義・演習	ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール	実習した身体の一部のみをコントロールする練習、ジャン
3	5月8日	講義・演習	ジャンルの違い習得+ボディーコントロール+リズムキープ	身体のパーツコントロール、種類の確認
4	5月15日	講義・演習	ボディーコントロールによるジャンルの違いの習得+リズム	コントロール、種類使い方の確認
5	5月22日	講義・演習	ボディーコントロールによるジャンルの違いの習得	4回の授業を経て得意、苦手な部分を理解しよりよくする為
6	5月29日	講義・演習	文化知識、リズムキープ	ジャンルの違い、区別を理解しておく
7	6月5日	講義・演習	文化知識、リズムキープ②	ジャンルの違い区別を理解しておく
8	6月12日	講義・演習	文化知識、リズムキープ③	ジャンルの違い、区別、使い方の復習
9	6月19日	講義・演習	文化知識、リズムキープ④	ジャンルの違い、区別を理解し踊れるようにする
10	6月26日	講義・演習	今まで学んだ知識、表現方法の復習、チェック	6の授業で覚えた名称や使い方を復習
11	7月3日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現	技+技を重ねて踊れるように練習
12	7月10日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現②	インプロの実践練習 1分は出来るように練習
13	8月21日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現③	インプロの実践練習 3分は出来るように練習
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してダンスの基本の大切さ、 実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方を学ぶ。	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベントを通して、ダンスの基本の大切さ、 実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方工夫を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	オールドスクール(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役ダンサーとして活動中。						
授業の学習 内容	STREETDANCEの中のOLD SCHOOL(主に1960～1990年代)について学ぶ、実践する。						
到達目標	時代による様々なスタイルのダンスの特徴や考え方、様式を理解し、自ら表現出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+	身体づくり、ストレッチ
2	10月9日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技②	実習した身体の一部のみをコントロールする練習、ジャンルの種類や名称を覚える
3	10月16日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技③	身体のパーツコントロール、種類の確認
4	10月23日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技④	コントロール、種類使い方の確認
5	10月30日	講義・演習	見直し、復習チェック	4回の授業を経て得意、苦手な部分を理解しよりよくする為練習
6	11月6日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)①	ジャンルの違い、区別を理解しておく
7	11月13日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)②	ジャンルの違い区別を理解しておく
8	11月20日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)③	ジャンルの違い、区別、使い方の復習
9	11月27日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)④	ジャンルの違い、区別を理解し踊れるようにする
10	12月4日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ポディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)⑤	6の授業で覚えた名称や使い方を復習
11	12月11日	講義・演習	時代で違うダンスの体現 インプロビゼーション(フリースタイル)に挑戦	技+技を重ねて踊れるように練習
12	12月18日	講義・演習	時代で違うダンスの体現 インプロビゼーション(フリースタイル)に挑戦②	インプロの実践練習 1分は出来るように練習
13	1月15日	講義・演習	総まとめ	インプロの実践練習 3分は出来るように練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通してダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方を学ぶ。	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベントを通して、ダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方工夫を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	テーマパーク A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	面高祐太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007~2011年 東京ディズニーリゾートでダンサーを勤め、現在はインストラクターとして指導に当たる。						
授業の学習 内容	オーディションへの対応能力、技術、見せ方が必要。 バレエ、JAZZ ダンスが基礎。 プロになる為のメンタル、技術を上げて夢を掴んでほしい。						
到達目標	鏡なしで8x8個性豊かに踊れること。人を魅了する踊りをする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ビルエット、シェネ基礎、8x8振付	基礎の反復練習。自分に活かすことなどを考える。
2	5月9日	講義・演習	ビルエット、シェネ応用、8x8振付	ビルエット、シェネの確認。 自分に活かすことなどを考える。
3	5月16日	講義・演習	バットマン、アチチュード基礎、8x8振付	バットマン、アチチュード基礎の反復練習。
4	5月23日	講義・演習	バットマン、アチチュード応用、8x8振付	応用、振付の踊りこみ。
5	5月30日	講義・演習	クロスフロア、基礎、8x8振付	クロスフロアに出てくる技術の確認。
6	6月6日	講義・演習	クロスフロア、応用、8x8振付	クロスフロア、振付の踊りこみ。
7	6月13日	講義・演習	ビルエット、シェネ基礎、8x8振付	ビルエット、シェネ基礎の確認。
8	6月20日	講義・演習	ビルエット、シェネ応用、8x8振付	ビルエット、シェネ応用の確認。振付の踊りこみ。
9	6月27日	講義・演習	アチチュード、ピケ、シェネ基礎、8x8振付	全ての基礎を再確認し反復練習。
10	7月4日	講義・演習	アチチュード、ピケ、シェネ応用、8x8振付	応用、振付の踊りこみ。
11	7月11日	講義・演習	表現力強化、バットマン基礎、8x8振付	バットマン、振付の確認。
12	7月18日	講義・演習	表現力強化、バットマン応用、8x8振付	自身の表現力を研究する。
13	8月22日	講義・演習	オーディション形式、10x8振付、鏡なし	自己評価をし、後期への目標を作る。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTube等を見てテーマパークダンサーの表現力や魅力を学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	テーマパーク A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	面高祐太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007~2011年 東京ディズニーリゾートでダンサーを勤め、現在はインストラクターとして指導に当たる。						
授業の学習 内容	オーディションへの対応能力、技術、見せ方が必要。 バレエ、JAZZ ダンスが基礎。 プロになる為のメンタル、技術を上げて夢を掴んでほしい。						
到達目標	鏡なしで8x14個性豊かに踊れること。人を魅了する踊りをする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	表現力強化、バットマン基礎、8x10振付	基礎の反復練習。自分に活かすことなどを考える。
2	10月10日	講義・演習	表現力強化、バットマン応用、8x10振付	自身の表現力の研究。自分に活かすことなどを考える。
3	10月17日	講義・演習	クロスフロア、基礎、8x10振付	クロスフロア基礎の反復練習。
4	10月24日	講義・演習	クロスフロア、応用、8x10振付	応用、振付の踊りこみ。
5	10月31日	講義・演習	ピルエット、ピケ、シエネ基礎、8x10振付	ピルエット、ピケ、シエネ基礎の確認。
6	11月7日	講義・演習	ピルエット、ピケ、シエネ応用、8x10振付	応用、振付の踊りこみ。
7	11月14日	講義・演習	クロスフロア基礎、3人ずつ8x12振付	クロスフロア基礎の確認
8	11月21日	講義・演習	クロスフロア応用、3人ずつ8x12振付	応用の確認。振付の踊りこみ。
9	11月28日	講義・演習	オーディション形式、12x8振付、鏡なし	オーディションを想定して振付を踊りこむ。
10	12月5日	講義・演習	オーディション形式、12x8踊りこみ、鏡なし	自己採点をし、今後の自分の課題を見つける。
11	12月12日	講義・演習	自己PR強化、14x8振付	自身の自己PRを探す。
12	12月19日	講義・演習	自己PR強化、14x8踊りこみ	自身の自己PRの強化。
13	1月9日	講義・演習	表現力強化、クロスフロア応用、14x8振付	表現力、基礎力、応用力、全てを研究する。
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTube等を見てテーマパークダンサーの表現力や魅力を学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	Style JAZZ & バークダンサー(1) Style JAZZ (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役として活動中。						
授業の学習 内容	ジャズダンスに必要な柔軟性、基礎体力、リズム感、体感を作る。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上。 コンビネーション(振付)を約2回の授業で1曲覚えてマスターする。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	腹式呼吸・胸式呼吸を覚える	授業内容を自主練習
2	4月28日	講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
3	5月12日	講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4	5月19日	講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5	5月26日	講義・演習	筋カトレニングのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
6	6月2日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ(重心のかけ方)	授業内容を自主練習
7	6月9日	講義・演習	様々なターンの説明、パドブレステップを学ぶ	授業内容を自主練習
8	6月16日	講義・演習	ピルエットターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9	6月23日	講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10	6月30日	講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11	7月7日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12	7月14日	講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13	8月25日	講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してフォーメーション作りを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着、シューズ				

科目名	Style JAZZ&パークダンサー(2) Style JAZZ (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役として活動中。						
授業の学習 内容	ジャズダンスに必要な柔軟性、基礎体力、リズム感、体感を作る。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上。 コンビネーション(振付)を約2回の授業で1曲覚えてマスターする。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストのよる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	丹田呼吸を学ぶ	授業内容を自主練習
2	10月13日	講義・演習	ボディウェーブを学ぶ	授業内容を自主練習
3	10月20日	講義・演習	アームウェーブを学ぶ	授業内容を自主練習
4	10月27日	講義・演習	足裏の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
5	11月3日	講義・演習	空間認識能力を育む	授業内容を自主練習
6	11月17日	講義・演習	表現力を鍛える	授業内容を自主練習
7	11月24日	講義・演習	足首を強化する(ルルベアップ)	授業内容を自主練習
8	12月1日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ(片足)	授業内容を自主練習
9	12月8日	講義・演習	体幹トレーニングを学ぶ	授業内容を自主練習
10	12月15日	講義・演習	ピルエットターンをきれいに回る(2回転)	授業内容を自主練習
11	1月12日	講義・演習	シェネターン・アラベスクターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
12	1月19日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
13	2月2日	講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して振付作りを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着、シューズ				

科目名	Jazz&Heels(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池上由布
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーとしてPV/CM/舞台/LIVE等、幅広く活躍中。 ダンスカンパニー『ELEVENPLAY』メンバー						
授業の学習 内容	パワフルでセクシーに踊るために基本的なストレッチ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学ぶ。ヒールを美しく履くための身体作りを研究し、ヒールを履いてのダンス、またはジェンダーレスな時代の振付に対応すべく表現を身につける。						
到達目標	①それぞれの個性を活かしたダンスを身につける ②ヒールを履いてブレずに踊る、またそのための体幹をつくる ③女性らしい動きを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	授業内容を把握する	ストレッチの流れを復習
2	4月28日	講義・演習	アイソレーションの理解、ヒールを履いてみる	ストレッチの流れを復習
3	5月12日	講義・演習	上半身のしなやかな動き、ウェーブを理解し、踊る	ウェーブを確認しておく
4	5月19日	講義・演習	腰のリズム、動きを理解する	前回の復習
5	5月26日	講義・演習	コンビネーションを自分らしく踊る	振り、曲の確認
6	6月2日	講義・演習	リズム、ダイナミックな振りを理解する	課題曲を聴いておく
7	6月9日	講義・演習	振り付けを覚える	復習しておく
8	6月16日	講義・演習	ダイナミックに踊る	復習しておく
9	6月23日	講義・演習	振付を1人で踊る	課題曲を聴いておく
10	6月30日	講義・演習	自分らしくヒールで踊る	課題曲を聴いておく
11	7月7日	講義・演習	人の踊りを見る	考察して見る
12	7月14日	講義・演習	前期学んだことを確認	曲を聴いておく
13	8月25日	講義・演習	テスト	学習のまとめ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			トレーニング必須	
【使用教科書・教材・参考書】				
ヒールorダンスヒール、スキンシューズ				

科目名	Jazz&Heels(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池上由布
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーとしてPV/CM/舞台/LIVE等、幅広く活躍中。ダンスカンパニー『ELEVENPLAY』メンバー						
授業の学習 内容	パワフルでセクシーに踊るために基本的なストレッチ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学ぶ。ヒールを美しく履くための身体作りを研究し、ヒールを履いてのダンス、またはジェンダーレスな時代の振付に対応すべく表現を身につける。						
到達目標	①それぞれの個性を活かしたダンスを身につける ②ヒールを履いてプレずに踊る、またそのための体幹をつくる ③女性らしい動きを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	授業内容を把握する	ストレッチの流れを復習
2	10月13日	講義・演習	アイソレーションの理解	ストレッチの流れを復習
3	10月20日	講義・演習	上半身のしなやかな動き、ウェーブを理解し、踊る	ウェーブを確認しておく
4	10月27日	講義・演習	腰のリズム、動きを理解する	前回の復習
5	11月3日	講義・演習	コンビネーションを自分らしく踊る	振り、曲の確認
6	11月17日	講義・演習	リズム、ダイナミックな振りを理解する	課題曲を聴いておく
7	11月24日	講義・演習	振り付けを覚える	復習しておく
8	12月1日	講義・演習	ダイナミックに踊る	復習しておく
9	12月8日	講義・演習	振付を1人で踊る	課題曲を聴いておく
10	12月15日	講義・演習	自分らしく踊る	曲を聴いておく
11	1月12日	講義・演習	人の踊りを見る	考察して見る
12	1月19日	講義・演習	後期学んだことを確認	曲を聴いておく
13	2月2日	講義・演習	テスト	学習のまとめ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にアクロバット出演						
授業の学習 内容	特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、パフォーマンスの幅を広げる。主に前方系・後方系・側方系の基礎的なマット運動。補助倒立。筋力トレーニング・柔軟。						
到達目標	男子も女子も綺麗なロンダートを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	授業内容、注意事項の説明 基礎練習	ネット上でアクロバットの歴史と文化を調査
2	4月27日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	5月11日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	体幹トレーニング
4	5月18日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを説明～補助付きで練習	ネット上で参考動画の検索・閲覧
5	5月25日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	6月1日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	体幹トレーニング
7	6月8日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しの練習	動画を撮影し、自己分析
8	6月15日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しの練習	体幹トレーニング
9	6月22日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しの練習	体幹トレーニング
10	6月29日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
11	7月6日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
12	7月13日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
13	8月24日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	アクロバット(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にアクロバット出演						
授業の学習 内容	特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、パフォーマンスの幅を広げる。主に前方系・後方系・側方系の中難度のマット運動。壁倒立。筋力トレーニング・柔軟。						
到達目標	男子も女子も補助有りでのバック転(後方転回跳び)またはバック宙(後方宙返り)またはハンドスプリング(前方転回跳び)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	後期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	10月12日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	10月19日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	体幹トレーニング
4	10月26日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを説明 ～補助付きで練習	ネット上で参考動画の検索・閲覧
5	11月2日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを説明 ～補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	11月16日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	体幹トレーニング
7	11月23日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	体幹トレーニング
8	11月30日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	体幹トレーニング
9	12月7日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	体幹トレーニング
10	12月14日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
11	12月21日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
12	1月11日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技の説明～補助付きで体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
13	1月18日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技の説明～補助付きで体験	動画を撮影し、自己分析
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して倒立・体幹の締め必要性を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して倒立・体幹の締め必要性を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	BREAK(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にブレイクダンスにて出演 その他ブレイクダンスバトル入賞多数						
授業の学習 内容	ブレイクダンスの要素を細分化し基礎から習得する中で、他ジャンルでは得にくい基礎体力・筋力・バランス感覚等を養い、非日常的な姿勢で静止したり、全身を使って立体的に回転したり、パフォーマンスの中で特に人の目を惹きつける技を体得していく。ストリートダンス全般に関連し、歴史的背景もあり1対1でのバトル等、競い合う精神が一番が高いジャンル。レッスン順序 柔軟→筋カトレニング→フリーズ各種→振り付けまたは技の練習→バトルまたはセッション						
到達目標	ストレッチで柔軟性を養い関節の可動域を広げ、可能な技の範囲を拡大する。筋カトレニングで特に上半身の筋力を養い、脚が床に着かない色々な体勢で支持出来る体作りを行う。倒立が基礎になる技を多用するので、倒立が自立で可能になる為のトレーニングを段階的に行う。名前の付いている基礎となるステップを覚え、反復練習する。ブレイクダンスの歴史と、今も残る特有の文化を学習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ブレイクダンスの歴史と文化の説明	ネット上でブレイクダンスの歴史と文化を調査
2	4月27日	講義・演習	日本でのブレイクダンスシーン解説	日本人有名ダンサーを検索・把握
3	5月11日	講義・演習	ネットでの学習の仕方や検索用語の説明	教わった用語を使用し、ネットにて調査
4	5月18日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の習得	ネットでの動画閲覧
5	5月25日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の実践	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
6	6月1日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の自己分析	動画を撮影し、自身のフリーズの形を分析
7	6月8日	講義・演習	倒立・ステップ数種の習得	動画を撮影し、自身の倒立を分析
8	6月15日	講義・演習	倒立・ステップ数種の実践	動画を撮影し、自身のステップを分析
9	6月22日	講義・演習	倒立・ステップ数種の自己分析	この時点での自身の能力に合った技術を選定
10	6月29日	講義・演習	振り付け・セッションの練習	動画を撮影し、自己分析
11	7月6日	講義・演習	振り付け・セッションの実践	動画を撮影し、見直し
12	7月13日	講義・演習	振り付け・バトルの練習	動画を撮影し、自己分析
13	8月24日	講義・演習	指定の振り付け・バトルの実践	動画を撮影し、見直し
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ネットを使用し、検索や調査・動画サイトで初心者～上級者まで閲覧	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	BREAK(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にブレイクダンスにて出演 その他ブレイクダンスバトル入賞多数						
授業の学習 内容	群舞でのパフォーマンスと区別し、一人で踊る事への意義を実感してもらう。バトルを通じて、競争心・コミュニケーション・相手への尊重等の育成を図る。難易度の高い技の習得に向かい、出来た時の達成感を感じる事で、途中で屈しない精神を養う。						
到達目標	前期で培われた柔軟性・筋力・覚えたステップを基礎とし、1人で踊る為の振り付けを自分で組み立てる。バトルを想定し、鏡では無く、対戦相手にエネルギーを向けて踊る訓練をする。振り付けとは別で、即興性やミスした際にリカバリーする能力を高める。1対1またはチーム分けをし、ダンスバトルを実践する。バトルのモチベーションとは別で、円になりお互いを尊重しながら見せ合うだけのセッションを行う。大技の習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの解説 ステップ数種	各自目標とする難度技の設定
2	10月12日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの練習 ステップ数種	ネットや動画サイトを調べ、難度技の理論を分析
3	10月19日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの実践 振り付け	自身の柔軟度・筋力を動画撮影し分析
4	10月26日	講義・演習	高難度の倒立の解説 ステップ数種	倒立に関する記事や動画をネットで閲覧
5	11月2日	講義・演習	高難度の倒立の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
6	11月16日	講義・演習	高難度の倒立の実践 振り付け	高難度の倒立の反復練習
7	11月23日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の解説 ステップ数種	フリーズに関する記事や動画をネットで閲覧
8	11月30日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
9	12月7日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の実践 振り付け	高難度のフリーズの反復練習
10	12月14日	講義・演習	即興・リカバリーの解説・練習	即興・リカバリーに関する記事や動画をネットで閲覧
11	12月21日	講義・演習	即興・リカバリーの実践	動画を撮影し分析
12	1月11日	講義・演習	バトルの解説、実践	自身の振り付けを事前に構想
13	1月18日	講義・演習	チーム分けバトルまたは1対1のバトル	実践動画を分析し、見直し・考察
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		ネットを使用し、検索や調査・動画サイトで初心者～上級者まで閲覧		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	K-POP(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤彩香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	May J./伊藤千晃/D-LITE(from BIGBANG)/2NE1/SEUNGRI/lo(エルオーエル)/SPYAIR/関ジャニ∞/V6/GOW/剛力彩芽/etc … その他ツアー、イベント、MV、TV、CM等ダンサー出演						
授業の学習 内容	①身体のラインの見せ方を追求する。ボディコントロールの向上。 ②様々なジャンルに通ずる、綺麗な踊り方を求める。 ③個々の体型(スタイル)を把握し、自分の強みを理解してほしい。 ④ウォーキング・ポージングを中心とした基礎トレーニング。振付指導。						
到達目標	自分の体型にあった、身体の角度、見せ方、踊りを手に入れる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	自分のスタイルを理解する。	自分のスタイルを再認識する
2	4月28日	講義・演習	自分のスタイルを理解し、踊りに活かす。	スタイルに合わせた踊りを考える
3	5月12日	講義・演習	スタイルを活かした見せ方を研究する。	見せ方の研究のために映像資料を観る
4	5月19日	講義・演習	綺麗に見える角度を理解する。	綺麗に見える角度を研究する
5	5月26日	講義・演習	綺麗に見える角度を理解し、踊りに反映させる。	研究した事を踊りに活かすように意識して踊る
6	6月2日	講義・演習	綺麗な踊りができるように研究する。	ハッキリと踊る事を意識して練習
7	6月9日	講義・演習	ウォーキングを学びつつ、振付指導。	ウォーキングの見せ方を研究する
8	6月16日	講義・演習	ウォーキングを学び、振付に反映させる。	振付の反復練習/研究
9	6月23日	講義・演習	自分にあったポージングを学ぶ。	ポージングのバリエーションを増やす
10	6月30日	講義・演習	ポージングを学びつつ、振付指導。	振付の反復練習/ポージング研究
11	7月7日	講義・演習	ダンスだけではなく、見せ方を学ぶ。	見せ方の研究/基礎トレーニング
12	7月14日	講義・演習	振付指導。基礎練習のまとめ。	振付の反復練習/基礎の応用練習
13	8月25日	講義・演習	指導した振付を自分のスタイルに合わせて踊る。	振付の反復練習/自分の踊りをチェックしておく
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してスタイルを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して見せ方を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでKPOPダンスを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	K-POP(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤彩香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	May J./伊藤千晃/D-LITE(from BIGBANG)/2NE1/SEUNGRI/lo(エルオーエル)/SPYAIR/関ジャニ∞/V6/GOW/剛力彩芽/etc … その他ツアー、イベント、MV、TV、CM等ダンサー出演						
授業の学習 内容	①身体のラインの見せ方を追求する。ボディコントロールの向上。 ②様々なジャンルに通ずる、綺麗な踊り方を求める。 ③個々の体型(スタイル)を把握し、自分の強みを理解してほしい。 ④ウォーキング・ポージングを中心とした基礎トレーニング。振付指導。						
到達目標	自分の体型にあった、身体の角度、見せ方、踊りを手に入れる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	振付の合わせ方を学ぶ。	振付の理解を深めておく
2	10月13日	講義・演習	周りの生徒と振付を合わせながら踊る。	自分と周りの人の踊りをチェックする
3	10月20日	講義・演習	振付を合わせながら、自分の個性を出す。	周りとの自分の踊りの違うところを探す
4	10月27日	講義・演習	振付に合わせた、綺麗な構成をつける。	映像資料で構成を研究する
5	11月3日	講義・演習	構成に合わせて踊ることを学ぶ。	振付と構成の関連性を理解する
6	11月17日	講義・演習	構成をつけて、踊り、周りとも合わせることを研究する。	様々なショーを観てみる
7	11月24日	講義・演習	音を理解して、振付を踊る。	音楽をよく聴くように意識する
8	12月1日	講義・演習	アクセントを理解して、振付を踊る。	アクセントの付けかたの研究
9	12月8日	講義・演習	はっきりと綺麗に音を取って踊る。	ハッキリと踊れるようにトレーニング
10	12月15日	講義・演習	振付の流れに沿って、自分で振付を考える。	自分の得意な動きを研究しておく
11	1月12日	講義・演習	自分の振付で音を理解し、しっかり踊ることができる。	自分で振付を作る事
12	1月19日	講義・演習	フリースタイルで踊ることができるように学ぶ。	フリーで踊る練習をする
13	2月2日	講義・演習	振付に沿って、フリースタイルで踊ることができる。	トータルとして自分の踊りを理解し、実践する
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して綺麗な踊りを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して綺麗な踊りを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでKPOPダンスを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	舞台舞踏史(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサー、振付師、講師						
授業の学習 内容	①舞踊および舞台芸術の歴史を知ることは最も基本学習の一つである ②舞踊の全科目に関連する専門知識や用語を学ぶ ③専門家として必要な最低限の知識と理論を修得する。 ④職業としてのダンスが、歴史の中でいかに出現し変化してきたのかを概観する。また研究の成果が実際のステージやダンス作品にどのように反映されてきたのかを知る。ダンスにおける身体の位置づけ、いまはダンスに何が求められている時代か、など、舞踊の基本的理論も合わせて学習する。 ストリートダンスの創世記から現代までのダンスや音楽に関する知識や歴史を正しく理解し、表現や創作に活かす						
到達目標	ダンサー／振付家など、職業舞踊家にとって最低限必要な歴史的知識を学び、専門家としての思考回路や将来ヴィジョンを構築するヒントを与え、作品制作や実技構築におけるコンセプトメイキングの根拠がもてるようにする。 ・HIPHOPとは何か？正しくダンスや音楽について話せるようになること ・黒人の精神、ファッション、文化、日本との関わりなど深く知ること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	ダンスの歴史と身体への視点。現代の最も新しいダンス、	ダンスの歴史の復習・予習・レポート提出
2	4月28日	講義・演習	ダンスの起源をさぐる。古代から現代に受け継がれているものは何か。各地にのこる伝統舞踊、折り身振り、リズムと遊び。舞台の原型、生命と肉体。歴史的視点という思考回路の形成。	ダンスの起源についての復習・予習・レポート提出
3	5月12日	講義・演習	バレエ成立史の概観。洋舞における基本的な身体観。中世～19世紀。ヨーロッパ古典舞踊からバレエ成立まで、日本芸能史(舞楽・猿楽・能・狂言・歌舞伎)との比較。	バレエの歴史についての復習・予習・レポート提出
4	5月19日	講義・演習	バレエ革命とモダンダンス～近代舞踊の草創期。19世紀末～20世紀初頭。ノイエタンツとバレエリユスなせこの時代に急速にダンスが進化したか。ダンス独特の表現とは何か。	バレエ革命についての復習・予習・レポート提出
5	5月26日	講義・演習	メソッドについて。20世紀初頭～1960年代:その1。モダンダンス、モダンバレエ。バレエクラシックと現代舞踊の大きな違いを理解する。	バレエのメソッドについての復習・予習・レポート提出
6	6月2日	講義・演習	娯楽産業とダンス。デモクラシー、大衆文化の誕生、娯楽産業とダンス 1930～1960年代:その2。ジャズ、レヴュー、ミュージカル、映画など。(ポップ・フォッシー、ジェローム・ロビンズ、ルイジテクニク、など)	娯楽産業についての復習・予習・レポート提出
7	6月9日	講義・演習	新しいダンスの潮流。コンテンポラリーダンスへ。1970年代～2000年代第二次大戦後の革新的潮流およびダンスのバラダイムシフト。現在進行形のダンスおよび世界の状況を通じて、将来ヴィジョンの構築を促す。	コンテンポラリーダンスについての復習・予習・レポート提出
8	6月16日	講義・演習	中間試験	中間試験の範囲を復習
9	6月23日	講義・演習	演習 HIP HOPとは？(70s～現代までおおまかに把握しよう)	YouTubeやネットの記事で各自ストリートダンスの起源について調べてみる
10	6月30日	講義・演習	演習 OLD SCHOOLについて知ろう	LOCK・POP・BREAK それぞれのダンスや歴史について予習しておく
11	7月7日	講義・演習	演習 NEW SCHOOLについて知ろう	HOUSE・HIPHOP それぞれのダンスや歴史について予習しておく
12	7月14日	講義・演習	演習 ストリートダンスにおける日本史と世界史	発祥の地アメリカのみならず、日本におけるストリートダンス史についても予習しておく
13	8月25日	講義・演習	演習 テスト(ペーパー)	テストの復習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの歴史を学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの歴史を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ダンサーとして、歴史を理解し表現につなげる大切さを学ぶ、調べるインターネットなどで、関連する映像や文献を頭に入れておく	
【使用教科書・教材・参考書】				
・教材・参考書:筆記用具、ノート				

科目名	テーマパークプロジェクト(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西川明宏 国光希沙 浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	西川:2006年~オリエントランド入社、4年間ダンサーとして出演。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。 国光:保健体育教員免許取得。2007年オリエントランドダンサーとして入社。現在現役ダンサーとして活躍中。 浅越:2011年~2015年、関東大手テーマパークにて、パレード、レギュラーショー等に出演。。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	前期終了までに到達させる目標を個人で決めてもらいそれに対する計画表を提出させる。 根本的な身体の土台を作る為基礎の習得に徹底する。 ジャンルレスに活躍して行く為により多くのダンススタイルを取り入れ習得させる。 個人の長所を伸ばし短所を克服していく方法を教え自ら維持していけるようメンタル面も指導する。 ダンスだけではなく様々なクリエイティブな時間を共有させてエンターテイナーとしての成長を促す。						
到達目標	①ショーダンスの基礎部分の習得。 ②自分でコントロール出来る身体と心を持つ。 ③個人目標の達成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	前期終了までの目標、それに対しての計画表の提出	講師陣からの意見を取り入れ見直す。
2	4月28日	講義・演習	ショーダンス基礎編①(ジャズ)	手先、足先、細かい動きの反復練習を自主練にも組み込む。
3	5月12日	講義・演習	ショーダンス基礎編②(HIPHOP)	ジャズとは相反した動きを習得出来るように工夫する。
4	5月19日	講義・演習	ショーダンス基礎編③(民族舞踊)	ワールドダンスの映像やショーなどを見て予習。
5	5月26日	講義・演習	ショーダンス基礎編④(アンサンブルダンス)	テーマパークやミュージカルなどのアンサンブルダンサーの在り方を研究しておく。
6	6月2日	講義・演習	ショーダンス応用編①(振付の覚え方)	早くて確に覚える方法をメンタル面から分析しておく。
7	6月9日	講義・演習	ショーダンス応用編②(シメを覚える)	クラシックバレエのルーティーンを研究する。
8	6月16日	講義・演習	ショーダンス応用編③(2種類の振りを覚える)	難題に当たった時の自分の傾向を予め研究しておく。
9	6月23日	講義・演習	ショーダンス応用編④(表現の基礎)□	課題曲に対して自分の表現したい内容を決めておく。
10	6月30日	講義・演習	ショーダンス応用編⑤(表現の応用)□	課題曲に対して自分の表現したい内容をさらに掘り下げておく。
11	7月7日	講義・演習	模擬オーディション①	心身共に本番通りの設定で挑む。
12	7月14日	講義・演習	模擬オーディション②	心身共に本番通りの設定で挑む。
13	8月25日	講義・演習	模擬オーディション③	心身共に本番通りの設定で挑む。
14	9月1日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでテーマパークを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
JAZZシューズ・レオタード等				

科目名	テーマパークプロジェクト(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西川明宏 国光希沙 浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	西川:2006年~オリエンタルランド入社、4年間ダンサーとして出演。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。 国光:保健体育教員免許取得。2007年オリエンタルランドダンサーとして入社。現在現役ダンサーとして活躍中。 浅越:2011年~2015年、関東大手テーマパークにて、パレード、レギュラーショー等出演。現在は舞台上出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	後期終了までに到達させる目標を個人で決めてもらいそれに対する計画表を提出させる。 前期で習得した身体の土台をさらにスキルアップさせながら維持する。 プロダンサーとしての必要な技術、表現、メンタルの3つをバランス良く習得させる。 ダンスだけではなく様々なクリエイティブな時間を共有させてエンターテイナーとしての成長を促す。						
到達目標	①ショーダンスの応用部分の習得。 ②プロになる準備として様々な発表の場に立たせる。 ③個人目標の達成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期終了までの目標、それに対しての計画表の提出。	講師陣からの意見を取り入れ見直す。
2	10月13日	講義・演習	プロダンサー基礎編①(衣装を着こなす)	様々な衣装を着こなす為の研究。 自分に見合った方法を探す。
3	10月20日	講義・演習	プロダンサー基礎編②(音楽を表現する)	より効果的に見せるには音楽のどの部分を ヒットさせるか研究する。
4	10月27日	講義・演習	プロダンサー基礎編③(小道具を使う)	ショーダンスに欠かせない小道具を上手く使う為 には何が必要かを考える。
5	11月3日	講義・演習	プロダンサー基礎編④(メイク)	それぞれのキャラクターに合った舞台メイクを研究。 実際に動画で確認する。
6	11月17日	講義・演習	プロダンサー実演編①(theme park①)	決められたストーリーをアンサンブルダンサーとして 表現する。
7	11月24日	講義・演習	プロダンサー実演編②(theme park②応用)	決められたストーリーをキャラクターダンサーとして 表現する。
8	12月1日	講義・演習	プロダンサー実演編③(theme park③応用)	決められたストーリーをメインダンサーとして 表現する。
9	12月8日	講義・演習	プロダンサー実演編④(ミュージカル①)	決められたストーリーをダンス、歌、芝居で表現する。
10	12月15日	講義・演習	ショーダンス実演編⑤(ミュージカル②応用)	決められたストーリーをダンス、歌、芝居で表現する。
11	1月12日	講義・演習	模擬オーディション①	心身共に本番通りの設定で挑む。
12	1月19日	講義・演習	模擬オーディション②	心身共に本番通りの設定で挑む。
13	2月2日	講義・演習	模擬オーディション③	心身共に本番通りの設定で挑む。
14	2月9日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでテーマパークを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
JAZZシューズ・レオタード等				

科目名	creation (1) creation A (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞踏家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。 また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についての	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
2	4月24日	講義・演習	コンセプトメイキング～ 作品づくり開始	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
3	5月8日	講義・演習	作品プレゼン(学年別) ★作品はこの時点でのプレゼンテー	プレゼン準備
4	5月15日	講義・演習	作品づくり(本振付)スタート	グループ組み
5	5月22日	講義・演習	各作品の細部指導/イベントの企画進行	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
6	5月29日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
7	6月5日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
8	6月12日	講義・演習	仮通し=イベント構成と指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
9	6月19日	講義・演習	止め通し	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
10	6月26日	講義・演習	作品の修正	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
11	7月3日	講義・演習	前期最終リハーサル ※2年も一緒▶稽古内容は直前に決定	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
12	7月10日	講義・演習	前期イベントの本番(日程等は仮)	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
13	8月21日	講義・演習	前期総括～後期作品(We are TSM進級・卒制)の 構想を始める	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしうえで出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (1) creation B (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についてのガイダンス～自己紹介 ③ イベントイメージを決める(どんな作品をいくつ作るか)	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
2	4月24日	講義・演習	コンセプトメイキング～ 作品づくり開始	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
3	5月8日	講義・演習	作品プレゼン(学年別)★作品はこの時点でのプレゼン テーション通過で創作スタート	プレゼン準備
4	5月15日	講義・演習	作品づくり(本振付)スタート	グループ組み
5	5月22日	講義・演習	各作品の細部指導/イベントの企画進行	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
6	5月29日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
7	6月5日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
8	6月12日	講義・演習	仮通し=イベント構成と指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
9	6月19日	講義・演習	止め通し	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
10	6月26日	講義・演習	作品の修正	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
11	7月3日	講義・演習	前期最終リハーサル ※2年も一緒▶稽古内容は直前に決定	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
12	7月10日	講義・演習	前期イベントの本番(日程等は仮)	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
13	8月21日	講義・演習	前期総括～後期作品 (We are TSM進級・卒制)の構想を始める	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (2) creation A (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の進行ガイダンス ~ 作品づくりの続き	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月9日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
3	10月16日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
4	10月23日	講義・演習	We are企画づくり、作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
5	10月30日	講義・演習	We are 企画進行、作品づくりツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
6	11月6日	講義・演習	We are 全体像ツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
7	11月13日	講義・演習	作品のつくりこみ、シーン繋ぎ、メンバー整理など	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
8	11月20日	講義・演習	舞台構成、演出作業(舞台の流れをつくる)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
9	11月27日	講義・演習	舞台構成、演出作業(細部の直し)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
10	12月4日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
11	12月11日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
12	12月18日	講義・演習	We are TSM 直前指導	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
13	1月15日	講義・演習	We are TSM 直前指導(細部の確認)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (2) creation B (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の進行ガイダンス ~ 作品づくりの続き	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月9日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
3	10月16日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
4	10月23日	講義・演習	We are企画づくり、作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
5	10月30日	講義・演習	We are 企画進行、作品づくりツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
6	11月6日	講義・演習	We are 全体像ツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
7	11月13日	講義・演習	作品のつくりこみ、シーン繋ぎ、メンバー整理など	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
8	11月20日	講義・演習	舞台構成、演出作業(舞台の流れをつくる)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
9	11月27日	講義・演習	舞台構成、演出作業(細部の直し)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
10	12月4日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
11	12月11日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
12	12月18日	講義・演習	We are TSM 直前指導	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
13	1月15日	講義・演習	We are TSM 直前指導(細部の確認)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	Basic Keyboard(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして30年。						
授業の学習 内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	・譜面の読み書きができるようになる。・コードの基礎を学び、様々なコード進行を両手で弾けるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	フォーム、演奏前の基礎知識を学ぶ。	指番号、音名、音符について予習、復習。
2	4月28日	講義・演習	クロマチック、音階、音程、練習方法を学ぶ。	授業の復習、M3rd,m3rdについて予習。
3	5月12日	講義・演習	ダイアトニックコード、運指トレーニング方法を学ぶ。	音程の感覚を復習、練習。
4	5月19日	講義・演習	M,mコード、転回形、ディグリーについて学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
5	5月26日	講義・演習	I-IV-V-I、I-V-IV-I、IV-I-V-I、V-I T、SD.Dの機能を復習、練習。	
6	6月2日	講義・演習	7th、II m-V7-I、I-IV-II m-V7-Iの動きを学ぶ	音の動き(II,V,I)の感覚を復習、練習。
7	6月9日	講義・演習	VI m、VIMが入ったコードワークを学ぶ。	IとVI mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
8	6月16日	講義・演習	III m、III Mが入ったコードワークを学ぶ。	IとIII mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
9	6月23日	講義・演習	4和音について学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
10	6月30日	講義・演習	m7 b 5、dim、aug、クリシェ進行を学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
11	7月7日	講義・演習	sus4、add9、7sus4ドミナントの置き換えを学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
12	7月14日	講義・演習	作曲、メロディー、リズムの仕組みについて学ぶ。	自由に作曲してみる。試験の準備。
13	8月25日	講義・演習	試験、アドバイス	試験、アドバイスの復習。イベント準備。
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して客観的感覚、仕組みを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。				

科目名	Basic Keyboard(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして30年。						
授業の学習 内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	コードの基礎を学び、様々なコード進行を両手で弾ける様になり、作曲や弾き歌いができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	マイナースケールとダイアトニックコード。	復習、転回形での練習。
2	10月13日	講義・演習	I m-IVm-V-I からの発展コードワークを学ぶ。	復習、転回形での練習。
3	10月20日	講義・演習	曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
4	10月27日	講義・演習	左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。	復習、バラデイドル練習。
5	11月3日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。	復習、曲を聞いて練習。
6	11月17日	講義・演習	曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
7	11月24日	講義・演習	左手のベースラインと右手のポジション	復習、各Keyで対応できるように理解して練習。
8	12月1日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。	復習、曲を聞いて練習。
9	12月8日	講義・演習	曲③イントロ、エンディングの付け方。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
10	12月15日	講義・演習	ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック	復習、曲を聞いて練習。
11	1月12日	講義・演習	弾き歌いのコツや聞かせ方。	復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。
12	1月19日	講義・演習	作曲して伴奏。ハーモニー、リズム、表現方法。	総復習。
13	2月2日	講義・演習	試験、アドバイス	復習。イベントの準備。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。				

科目名	ballet A (3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレシタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①身体の使い方を学び、全てのダンスに通じる身体を作る為。 ②他ジャンルのダンスに繋がる身体、メンタルを身に付ける。 ③自分を深く掘り下げ、身体表現の幅を広げてほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターに繋げ、日常生活から身体に向き合う精神を身に付ける。						
到達目標	自分と向き合い身体を知り、ダンステクニックを向上させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	前期の目標設定	各自の目標に合ったトレーニングに取り組む。
2	4月27日	講義・演習	踊る為の身体作り(腹、足の関係)	ストレッチ、トレーニング強化
3	5月11日	講義・演習	コアから繋がる身体作り(腹、背中、肩の関係)	バレエ用語の復習
4	5月18日	講義・演習	バーレッスン強化	弱点の見直し
5	5月25日	講義・演習	体重移動の強化	弱点克服の為のトレーニング設定
6	6月1日	講義・演習	テクニック強化(ジャンプ、バットマン)	テクニックの弱点を確認
7	6月8日	講義・演習	テクニック強化(回転)	テクニック強化の為のトレーニング設定
8	6月15日	講義・演習	魅せ方(他ジャンルに繋がる身体の使い方)	イメージを身体に落とすトレーニング
9	6月22日	講義・演習	音楽性、音感、リズム感を学ぶ。	さまざまな音楽を聴き、イメージするトレーニング
10	6月29日	講義・演習	イメージを身体に落とし込み身体で表現ができるか。	常にイメージを持って身体と向き合う
11	7月6日	講義・演習	バーレッスンからセンターへ繋げる。	イメージ通りに身体を動かす
12	7月13日	講義・演習	センター強化(タンジュ、アダージオ、バットマン)	課題を新たに設定
13	8月24日	講義・演習	センター強化(ピルエット、アレグロ、グランワルツ)	課題に合ったストレッチ、トレーニングを設定
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して身体を最大限に使い切ることを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して音楽の中で踊ることを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	ballet A (4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレシタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①身体の使い方を学び、全てのダンスに通じる身体を作る為。 ②他ジャンルのダンスに繋がる身体、メンタルを身に付ける。 ③自分を深く掘り下げ、身体表現の幅を広げてほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターに繋げ、日常生活から身体に向き合う精神を身に付ける。						
到達目標	自分と向き合い身体を知り、ダンステクニックを向上させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期の復習、課題、目標設定	足りない点を明確に、課題を見つける
2	10月12日	講義・演習	基礎の見直し(プリエ、タンジュ、ジュテ)	持久カトレーニング
3	10月19日	講義・演習	基礎の見直し(体重移動、フォンデュ、デベロッパ)	体幹トレーニング
4	10月26日	講義・演習	軸、重心、コアから身体の繋がり	体幹トレーニング
5	11月2日	講義・演習	上体、身体の魅せ方	弱点克服トレーニング
6	11月16日	講義・演習	アームス、首の使い方	足裏トレーニング
7	11月23日	講義・演習	他ジャンルに繋げるバレエ	身体、精神、呼吸を整える
8	11月30日	講義・演習	テクニック応用(バーレッスン)	各自課題のストレッチ、トレーニング
9	12月7日	講義・演習	テクニック応用(センター)	課題を日々行った成果を確認
10	12月14日	講義・演習	音楽性を重視したテクニック応用	さまざまな音楽を聴き、イメージを持つ
11	12月21日	講義・演習	他ジャンルに繋がるバレエ応用	テクニック弱点の確認
12	1月11日	講義・演習	一年を通しての身体の変化、意識の変化	テクニック弱点の克服のためのトレーニング
13	1月18日	講義・演習	一年のまとめ(基礎、応用)	これから先の課題の設定
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通してプロフェッショナルとしての舞台への意識を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して音楽を身体を使って表現することを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業前後のストレッチと筋カトレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	ballet B(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で、身体の隅々までコントロールできる身体づくり。 身体の仕組みを理解し、その為の解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みを無くし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエ。 ターンやジャンプの応用・技術力・表現力を高める						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届けさせ コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(前半)	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	5月10日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(後半)	基礎トレーニング復習
3	5月17日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーの復習	基礎トレーニング復習
4	5月24日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニング復習
5	5月31日	講義・演習	バー、センター基礎と順番	基礎トレーニング復習
6	6月7日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニング復習
7	6月14日	講義・演習	バー、センター、ターンの応用	基礎トレーニング復習
8	6月21日	講義・演習	バー、センター、ジャンプの応用	基礎トレーニング復習
9	6月28日	講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの動きの基礎	基礎トレーニング復習
10	7月5日	講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	基礎トレーニング復習
11	7月12日	講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	基礎トレーニング復習
12	7月19日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	基礎トレーニング復習
13	8月23日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	基礎トレーニング復習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			youtubeなど動画を見ること	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ・レオタード・タオル				

科目名	ballet B(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で、身体の隅々までコントロールできる身体づくり。 身体の仕組みを理解し、その為の解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みを無くし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエ。 ターンやジャンプの応用・技術力・表現力を高める						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届かせ コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー復習	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	10月11日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー応用	基礎トレーニング復習
3	10月18日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーセンター	基礎トレーニング復習
4	10月25日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニング復習
5	11月1日	講義・演習	バー、センター基礎と順番・ターンの応用	基礎トレーニング復習
6	11月8日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニング復習
7	11月15日	講義・演習	バー、センター、ターンの応用	基礎トレーニング復習
8	11月22日	講義・演習	バー、センター、ジャンプの応用	基礎トレーニング復習
9	11月29日	講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの動きの基礎	基礎トレーニング復習
10	12月6日	講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	基礎トレーニング復習
11	12月13日	講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	基礎トレーニング復習
12	12月20日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	基礎トレーニング復習
13	1月10日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	基礎トレーニング復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			youtubeなど動画を見ること	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ・レオタード・タオル				

科目名	ballet&JAZZ (3) ballet C(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松本 絵莉子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	英国swan seaバレエ団Ballet Ruse、ユニバーサルスタジオジャパン・東京ディズニーリゾートなどでダンサーを勤め、現在は指導にあたる。						
授業の学習 内容	・ストレッチ ・バーレッスン ・センターレッスン						
到達目標	①スキルアップ ②プロフェッショナルな表現力となる為の基礎を学ぶ ③観に来た人からの評価を感じ、考える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	ディスカッションと実技	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	4月28日	講義・演習	バーレッスンを通し各生徒の個性を測る	個々に自身の個性を知り次回に活かせるようにする
3	5月12日	講義・演習	バーレッスンを進めるとともに内容を深める	身体の使い方を理解し深めてくる
4	5月19日	講義・演習	ここまで進めたバーレッスンを理解できているかを測る	わからないところを更に確認する
5	5月26日	講義・演習	バーレッスンの内容を更に深める	バーレッスンの意味を理解する
6	6月2日	講義・演習	苦手なパを練習する	自分の弱点と向き合う
7	6月9日	講義・演習	前期の折り返しとしてここまでの総括とここまでの成績判断	これからも課題を自覚してもらう
8	6月16日	講義・演習	バーレッスンとセンターレッスンを進める	回数をこなし、軸をしっかり作る
9	6月23日	講義・演習	更に練習を深める	毎回成長を自身が感じられるまで練習する
10	6月30日	講義・演習	センターレッスンの内容を深める	バーレッスンを活かしているか自覚してもらう
11	7月7日	講義・演習	センターレッスン・ジャンプの種類を覚える	ジャンプの種類を覚え、振りに活かしてもらう
12	7月14日	講義・演習	バーレッスン・センターレッスンを踊りこむ	自分自身何ができるようになったのかを自覚する
13	8月25日	講義・演習	前期の総括、成績判断日	実技演習を通した前期の総括
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる				

科目名	ballet&JAZZ (3) JAZZ A(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー、インストラクター(指導歴11年)						
授業の学習 内容	JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	授業の進め方の説明。卒業までの目標確認。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	4月28日	講義・演習	身体の引き上げの理解し、ターンの練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	5月12日	講義・演習	連続ターンのの練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	5月19日	講義・演習	ターンに 응용を加える。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	5月26日	講義・演習	ピルエットの説明、練習開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	6月2日	講義・演習	ピルエットの回る回数を増やす。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	6月9日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	6月16日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	6月23日	講義・演習	ターンコンビネーションに 응용を加える。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	6月30日	講義・演習	ターンコンビネーション応用の習得の練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	7月7日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	7月14日	講義・演習	実技テストの課題練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	8月25日	講義・演習	実技テスト。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル等				

科目名	ballet&JAZZ (4) ballet C(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松本 絵莉子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	英国swan seaバレエ団Ballet Ruse、ユニバーサルスタジオジャパン・東京ディズニーリゾートなどでダンサーを勤め、現在は指導にあたる。						
授業の学習 内容	・ストレッチ ・バーレッスン ・センターレッスン						
到達目標	①スキルアップ ②プロフェッショナルな表現力となる為の基礎を学ぶ ③観に来た人からの評価を感じ、考える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期への意気込みをお互いに共有する	後期の授業への取り組みを有意義なものにする
2	10月13日	講義・演習	バレエの表現をもっと考えながらレッスンする	客観的に見えるように考える
3	10月20日	講義・演習	基礎レッスンの踊りこみ	ポジションや動きの意味を理解し、深める
4	10月27日	講義・演習	自身の苦手なところを練習する	自分自身を理解する
5	11月3日	講義・演習	基礎レッスンの内容を深める	更に新しい事を覚えていく
6	11月17日	講義・演習	ステージへの謙虚な姿勢を忘れないための講義・演習をする	スタッフ・ステージへの真摯な姿勢を身に着ける
7	11月24日	講義・演習	後期の折り返しとして、ここまでの成績判断	これまでの総括を考えこれからの課題を自覚してもらう
8	12月1日	講義・演習	身体の使い方を忘れずテクニック練習	自分自身で成長が感じられるまでやりこむ
9	12月8日	講義・演習	オーディションなども想定し練習する	客席を意識し何を伝えなきゃいけないかを考え動く
10	12月15日	講義・演習	更にテクニック練習をする	苦手なところを更にやりこむ
11	1月12日	講義・演習	オーディション本番を意識し、最終チェック	パフォーマンスのクオリティを当日一番いい所に持って行く努力をする
12	1月19日	講義・演習	最終調整日	今までの成長を自身で感じられるようにする
13	2月2日	講義・演習	後期の総括。成績判断日	実技演習を通じた後期の総括
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してバレエの大切さを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してバレエの大切さを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTube等でバレエの作品や歴史に触れる				

科目名	ballet&JAZZ (4) JAZZ A(4)	必修 選択	必修 選択必修	年次	2	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー、インストラクター(指導歴11年)						
授業の学習 内容	プロとして必要なJAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。各自の目標体重、なりたい体型になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	10月13日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化。②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	10月20日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化。③	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	10月27日	講義・演習	学んだ事を取り入れた振付け開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	11月3日	講義・演習	振付けの踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	11月17日	講義・演習	振付の応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	11月24日	講義・演習	4週目からの振付けの発表	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	12月1日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付け開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	12月8日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	12月15日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	1月12日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	1月19日	講義・演習	試験準備。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	2月2日	講義・演習	試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル等				

科目名	ballet D(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト、下島功佐・田中りなバレエアカデミー主宰、株式会社KRstudio代表取締役						
授業の学習 内容	① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。 ② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。 ③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。 ④ 柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得のためのバーレッシン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッシン(バーレッシン、センターレッシン、共に音楽に合わせて行う)						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	前屈ストレッチ、横開脚ストレッチ、縦開脚ストレッチ、下半身の筋肉のストレッチ	知っているストレッチをやっておく。
2	4月24日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン プリエ。身体をまっすぐにたてる意識を持つ事を重点的に。	1で学んだストレッチ、筋力トレーニング。手のポジション、足のポジションの復習。
3	5月8日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン タンジュとジュテ。自分の前横後ろへ身体がぶれずに真っ直ぐに足を出せる事を重点的に。	2で学んだストレッチ、筋力トレーニング。プリエの復習。
4	5月15日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン タンジュとジュテ。足の指、ドゥミをきちんと使えるように意識することを重点的に。	3で学んだストレッチ、筋力トレーニング。タンジュ、ジュテの復習。
5	5月22日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン ロンデジャンプ。前横後ろのタンジュを連続して繋いで動かす事を覚える。動かすときに身体、腰がブレない事を意識して。パッセの説明。	4で学んだストレッチ、筋力トレーニング。タンジュ、ジュテの復習。
6	5月29日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン フォンデュ。片足のプリエ、及びクベの形を理解、習得	5で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ロンデジャンプ、パッセの復習。
7	6月5日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン フラッペ。体幹がブレずに音、リズムに合わせてはっきりと素早く足を動かせる。	6で学んだストレッチ、筋力トレーニング。フォンデュ、クベの復習。
8	6月12日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン アダジオとグランバットマン。タンジュを通して足を高く上げ、キープ出来るように。素早く高く上げられるように。	7で学んだストレッチ、筋力トレーニング。フラッペの復習。
9	6月19日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン アダジオとグランバットマン。デベロップの習得。	8で学んだストレッチ、筋力トレーニング。アダジオ、グランバットマンの復習。
10	6月26日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン ルルベの確認。	9で学んだストレッチ、筋力トレーニング。デベロップの復習。
11	7月3日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン スシュとエシャッペの説明。	10で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ルルベの復習。
12	7月10日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン シャンジュマンの説明。	11で学んだストレッチ、筋力トレーニング。スシュとエシャッペの復習。
13	8月21日	講義・演習	試験 12までのバーレッシン及びセンターレッシンの内容に対する理解力の確認。	12で学んだストレッチ、筋力トレーニング。シャンジュマンの復習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して、自身の身体を使って作品の意味や内容を表現する方法ややり方、を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル				

科目名	Ballet D(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト、下島功佐・田中りなバレエアカデミー主宰、株式会社KRstudio代表取締役						
授業の学習 内容	① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が多いため、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。 ② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。 ③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。 ④ 柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得のためのバーレッシン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッシン(バーレッシン、センターレッシン、共に音楽に合わせて行う)						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン センターレッシンでの角度、身体の向き説明、エファゼ、クロワゼ、エカルテ 等。	前期に学んだストレッチ、筋力トレーニング。
2	10月9日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン バーを使わずに体幹を保ってタンジュ、グランバットマンと片足でパッセのバ ランス。	1で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターレッシンでの身体の向き、角度
3	10月16日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン 回転をする時の首から上、顔の使い方、アンデタンとアンデオールのビルエツ トの説明と実践。	2で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターでのタンジュ、グランバットマン
4	10月23日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン バーを使わずにアダジオ、デペロペの実践。	3で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ビルエツトのアンデオールとアンデタン
5	10月30日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン センターでのスシュとエシャッペ、スモールジャンプ(ジャンジュマンやスーブル ゾーなど)前後左右に動かないその場でやるもの、の説明と実践。	4で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターレッシンでのアダジオの復習。
6	11月6日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン グリッサードとアッサンブレの説明と実践。	5で学んだストレッチ、筋力トレーニング。スシュ、エシャッペとスモールジャンプの
7	11月13日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン 5.6.7の内容を応用したコンビネーション	6で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グリッサードとアッサンブレの復習。
8	11月20日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン 大きなジャンプ、グランワルツ、基本的なコンビネーションで。	7で学んだストレッチ、筋力トレーニング。アレグロジャンプの復習。
9	11月27日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン グランワルツを少し複雑なコンビネーションで。	8で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グランワルツの復習。
10	12月4日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン シェネ、ピケアンデタン等、早い回転の連続技の説明と実践。	9で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グランワルツの復習。
11	12月11日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン シェネとピケアンデタンのコンビネーション。	10で学んだストレッチ、筋力トレーニング。シェネとピケアンデタンの復習。
12	12月18日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、バーレッシン、センターレッシン ジャンプをしながらの回転技、ソデバスク、ザンレール等への挑戦。	11で学んだストレッチ、筋力トレーニング。連続回転コンビネーションの復習。
13	1月15日	講義・演習	試験 後期12までのバーレッシン及び センターレッシンの内容に対する理解力の確認	12で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ソデバスク、ザンレールのやり方の復
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して、自身の身体を使って作品の意味や内容を 表現する方法ややり方、を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル				

科目名	Ballet E(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	瀬尾和香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バレエ講師歴19年。						
授業の学習 内容	基礎はもちろん表現やテクニックを学ぶ						
到達目標	他のジャンルのダンス・オーディションに必要な基礎、身体をつくり用語を覚える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	正しい姿勢・位置での立ち方、腕脚の出し方	各自でストレッチ
2	4月24日	講義・演習	引き上げの意識	各自でストレッチ
3	5月8日	講義・演習	正しい骨盤の位置 アンディオール	各自でストレッチ
4	5月15日	講義・演習	つま先を伸ばす	各自でストレッチ
5	5月22日	講義・演習	4週目までのことをセンターで	各自でストレッチ
6	5月29日	講義・演習	正しい方向	各自でストレッチ・クールダウン
7	6月5日	講義・演習	ピルエット・アンディオール	各自でストレッチ・クールダウン
8	6月12日	講義・演習	ピルエット・アンドウダン	各自でストレッチ・クールダウン
9	6月19日	講義・演習	ピルエットの応用	各自でストレッチ・クールダウン
10	6月26日	講義・演習	ジャンプ・いろんなポジションから	各自でストレッチ・クールダウン
11	7月3日	講義・演習	グリッサード・アンサンブル・ジュテ	各自でストレッチ・クールダウン
12	7月10日	講義・演習	テストに向けてのバ	各自でストレッチ・クールダウン
13	8月21日	講義・演習	テスト	各自でストレッチ・クールダウン
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してバレエの基礎を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベントを通してバレエの基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで歴史やステージパフォーマンスを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
レオタード・シューズ・タイツ				

科目名	Ballet E(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	瀬尾和香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バレエ講師歴19年。						
授業の学習 内容	基礎はもちろん表現やテクニックを学ぶ						
到達目標	他のジャンルのダンス・オーディションに必要な基礎、身体をつくり用語を覚える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習	各自でストレッチ
2	10月9日	講義・演習	アントルラッセ・フェットソテ	各自でストレッチ
3	10月16日	講義・演習	バドゥシャ・グアンバドゥシャ	各自でストレッチ
4	10月23日	講義・演習	グランジュテ	各自でストレッチ
5	10月30日	講義・演習	シャッセからのジャンプ	各自でストレッチ
6	11月6日	講義・演習	ピケターン	各自でストレッチ・クールダウン
7	11月13日	講義・演習	6週までの復習	各自でストレッチ・クールダウン
8	11月20日	講義・演習	応用・センターで複雑な動き	各自でストレッチ・クールダウン
9	11月27日	講義・演習	基礎から確認	各自でストレッチ・クールダウン
10	12月4日	講義・演習	8週目と同じ応用	各自でストレッチ・クールダウン
11	12月11日	講義・演習	10週目より複雑な応用	各自でストレッチ・クールダウン
12	12月18日	講義・演習	テストの振り付け	各自でストレッチ・クールダウン
13	1月15日	講義・演習	一年間やってきたこと学んだことを復習	各自でストレッチ・クールダウン
14	1月29日	講義・演習	イベントを通してバレエの基礎を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベントを通してバレエの基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで歴史やステージパフォーマンスを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
レオタード・シューズ・タイツ				

科目名	JAZZ&Choreographer(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	受講生本人が習得したダンススキルを、どのように生かし表現していくのかを具体的にするための実技演習授業。 観にきたお客さんの心を動かすためにはどうすれば良いかを常に考え、実際に作品を課題として与えて発表してもらいます。 ステージ人としてのプロフェッショナルなフィジカルとメンタルの習得だけでなく、謙虚で真摯な姿勢で、作品や演目に向き合える 本物のプロを目指します。						
到達目標	①振り付けられたものを発表をする ②お互いのパフォーマンスを見て、感じ、考える ③自分の中に、プロフェッショナルな表現者となる為の礎を築く						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	実技・ディスカッション	二年生になったことを自覚し、意識を高くもつ
2	5月10日	講義・演習	実技・基礎の見極め	基礎力のさらなる向上を忘れず、 自宅などでも鍛えてくる
3	5月17日	講義・演習	実技・基礎練習・振付	身につけた基礎がダンスに表れているかを確認する
4	5月24日	講義・演習	実技・振付への取り組み	与えられた振付を次回までにしっかり覚えてくる
5	5月31日	講義・演習	実技・振付けされたものを踊り込み深める	振付をしっかりと踊れるよう、自己を洗練させる
6	6月7日	講義・演習	実技・オーディションを想定した実践要素を盛り込む	振付を早く覚え身に付けるための感性を磨く
7	6月14日	講義・演習	実技・自己総括①	ここまでの自分を省みて自分への課題をつくる
8	6月21日	講義・演習	実技・苦手部分の克服と取り組み	自分の弱点の克服に努め、 次回までに成長を見せられよう取り組む
9	6月28日	講義・演習	実技・踊り込み	踊り込みで得たものを臍に落とし、発表に備える
10	7月5日	講義・演習	実技・踊り込み・発表	お互いの発表を見て、 自分の生かせるような発見をする
11	7月12日	講義・演習	実技・発表	今までの練習がどれだけ身についたのかハッキリ考える、 昨年度の自分との比較をする
12	7月19日	講義・演習	実技・自己総括②・ディスカッション	総括①の時との変化を考える
13	8月23日	講義・演習	実技・前期総括・ディスカッション	前期を通して自分が身につけたものを知り、 後期への課題を見つける
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して実際の現場感覚を学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して現場感覚と自分の成長を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		①基礎力アップの取り組み(柔軟性を高めるためのストレッチなど) ②Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	JAZZ&Choreographer(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	受講生本人が習得したダンススキルを、どのように生かし表現していくのかを具体的にするための実技演習授業。 親にきたお客さんの心を動かすためにはどうすれば良いかを常に考え、実際に作品を課題として与えて発表してもらいます。 ステージ人としてのプロフェッショナルなフィジカルとメンタルの習得だけでなく、謙虚で真摯な姿勢で、作品や演目に向き合える 本物のプロを目指します。						
到達目標	①振り付けられたものを発表をする ②お互いのパフォーマンスを見て、感じ、考える ③自分の中に、プロフェッショナルな表現者となる為の礎を築く						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	実技・ディスカッション	後期の意識、課題の確認
2	10月11日	講義・演習	実技・振付・基礎力向上プログラム	後期の自分に必要なスキルを見据えて トレーニングする
3	10月18日	講義・演習	実技・振付	覚えた振付をしっかりと入れてくる。 どう踊りたいかを自分で考える
4	10月25日	講義・演習	実技・振付・踊り込み	自分の理想通りに踊れたかの確認をしてくる
5	11月1日	講義・演習	実技・振付・実践的感覚の向上	群舞、ソロパート、ソロダンスなどどんな局面でも 対応できるような意識の持ち方を覚える
6	11月8日	講義・演習	実技・踊り込み	振付を深め、府に落とす
7	11月15日	講義・演習	実技・自己総括①	全授業の3分の1が終わったことを自覚し、 自分を見つめる
8	11月22日	講義・演習	実技・グループ分け・踊り込み	各グループ、個性を各々で見いだし、 自分たちのアイデアを盛り込む
9	11月29日	講義・演習	実技・ディスカッション	振付を深めると共に、 グループ毎の個性とパフォーマンスの質を伸ばす
10	12月6日	講義・演習	実技・踊り込み・発表	グループ発表を通し、 それぞれ最後の追い込みをする
11	12月13日	講義・演習	実技・発表	本番を想定した発表を通し、 実力を発揮できたか省みる
12	12月20日	講義・演習	実技・自己総括②	自己総括①からの変化と、 1年前の自分との違いを考える
13	1月10日	講義・演習	実技・2年間の総括・ディスカッション	全授業を通して自分が身につけたものを知り、 それぞれのこれからの人生にどう活かしていくかを考える。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して実際の現場感覚を学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して自分の成長を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		①基礎力アップの取り組み(柔軟性を高めるためのストレッチなど) ②Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	VT A(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハシンセのインストラクターとなり日本放送ヤマハの番組を務める。独自のバンド活動始めるかたわら多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。						
授業の学習 内容	歌う時の姿勢、複式呼吸の強化、筋肉のトレーニング、発声に必要なリップロール、タンギングなどを活用して呼吸を重視しより自分にあった発声を身に着ける						
到達目標	歌うための身体作りや半音・スケールを身に付けて音感を習得し歌うための表現力を身に着け歌うための技術のレベルアップを達成してもらいたい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	1年間の授業内容の説明とプリント配布	プリントの解読
2	4月24日	講義・演習	姿勢、逆複式呼吸のおさらいと実践	姿勢・逆複式呼吸のおさらい
3	5月8日	講義・演習	歌う時の筋肉の使い方のおさらいと実践	筋肉トレーニング
4	5月15日	講義・演習	1～3週の復習と、一人ずつワンコーラス歌を発表	1～3週の復習 発表曲のおさらい
5	5月22日	講義・演習	腹筋強化のトレーニング スケールのトレーニング	腹筋強化・スケールのおさらい
6	5月29日	講義・演習	身体の中で声を鳴らすトレーニング・スケールのトレーニング	響かす・スケールのおさらい
7	6月5日	講義・演習	鼻を響かすアミンのトレーニング・スケールのトレーニング	アミン・スケールのおさらい
8	6月12日	講義・演習	5～7週の復習と、一人ずつワンコーラス歌を発表	5～7週の復習 発表曲のおさらい
9	6月19日	講義・演習	ハミング・リップロールのトレーニング・半音のトレーニング	ハミング・リップロール・半音おさらい
10	6月26日	講義・演習	タンギングの実践と強化・半音のトレーニング	タンギング・半音のおさらい
11	7月3日	講義・演習	母音の響きを均一にする発声練習 半音のトレーニング	母音・半音のおさらい
12	7月10日	講義・演習	9～11週の復習・一人ずつワンコーラス歌を発表	9～11週の復習 発表曲のおさらい
13	8月21日	講義・演習	前期の授業確認	前期の復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してを伝わる声の出し方を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス能力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	VT A(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハシンセのインストラクターとなり日本放送ヤマハの番組を務める。独自のバンド活動始めるかたわら多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。						
授業の学習 内容	歌う時の姿勢、複式呼吸の強化、筋肉のトレーニング、発声に必要なリップロール、タンギングなどを活用して呼吸を重視しより自分にあった発声を身に着ける						
到達目標	歌うための身体作りや半音・スケールを身に付けて音感を習得し歌うための表現力を身に着け歌うための技術のレベルアップを達成してもらいたい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の各自の目標制作	後期の目標確認
2	10月9日	講義・演習	一人ずつフルコーラス歌を発表	発表曲のおさらい
3	10月16日	講義・演習	前期のすべてのおさらい	前期の確認
4	10月23日	講義・演習	呼吸法のトレーニング① リズムトレーニング①	呼吸法・リズムのおさらい
5	10月30日	講義・演習	呼吸法のトレーニング② ポルタメントの実践	呼吸法・ポルタメントのおさらい
6	11月6日	講義・演習	4～5週の復習と、一人ずつフルコーラス歌を発表	4～5週の復習 発表曲のおさらい
7	11月13日	講義・演習	腹筋強化つま先立ちトレーニング①	つま先立ちのおさらい
8	11月20日	講義・演習	腹筋強化肩甲骨トレーニング②	肩甲骨のおさらい
9	11月27日	講義・演習	腹筋強化肩回しトレーニング③	肩回しのおさらい
10	12月4日	講義・演習	7～9週の復習と一人ずつフルコーラス歌を発表	7～9週の復習 発表曲のおさらい
11	12月11日	講義・演習	1年間のまとめ 前半	前半のおさらい
12	12月18日	講義・演習	1年間のまとめ 後半	後半のおさらい
13	1月15日	講義・演習	最後の歌の発表	発表曲のおさらい
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してアピールポイントを学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	VT B(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	藤田統子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ヴォーカルトレーナー歴17年(2006年～)						
授業の学習 内容	①アーティストとして生きていく上での基礎的な知識と体力と考察力を身につける。 ②歌唱トレーニング及び発声等の基礎トレーニング。 ③どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけてほしい。 ④ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、そしてアーティストとしての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方などを身につける。 オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。						
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	各々の憧れのアーティスト像について語る 歌う姿勢の確認、腹式呼吸、各々の音域チェックと目標決め	授業内容の復習・自主トレ
2	4月27日	講義・演習	腹式呼吸・発声練習 ※毎時間やるため以下記入省略 課題曲①-1(邦楽) 【課題】正確な音程がとれるようになる。	授業内容の復習・自主トレ
3	5月11日	講義・演習	課題曲①-2(邦楽) 【課題】正確な音程がとれるようになる。	授業内容の復習・自主トレ
4	5月18日	講義・演習	課題曲①-3(邦楽) 【課題】正確な音程がとれるようになる。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
5	5月25日	講義・演習	課題曲②-1(邦楽) 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
6	6月1日	講義・演習	課題曲②-2(邦楽) 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
7	6月8日	講義・演習	課題曲②-3(邦楽) 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
8	6月15日	講義・演習	課題曲③-1(邦楽) 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
9	6月22日	講義・演習	課題曲③-2(邦楽) 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
10	6月29日	講義・演習	課題曲③-3(邦楽) 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
11	7月6日	講義・演習	討論 ・前期に学んだことについて何を身につけてたかを話し合う。 ・定期テストの説明と、テストへ向けてのチーム分け編成。	授業内容の復習・自主トレ
12	7月13日	講義・演習	定期テスト発表会の練習 ・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
13	8月24日	講義・演習	定期テスト ・前期に出された課題曲の中でチームに分かれて自由に振り付け、発表。順位決め。授業内容が生かされているかチェック	授業内容の復習・自主トレ
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現の幅を学ぶ。	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して表現する際の集中力を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			毎時間ごと、進行具合によって課題が変わり、それぞれの努力次第ではさらに課題が増えていくので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	VT B(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	菅谷統子
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ヴォーカルトレーナー歴17年(2006年～)						
授業の学習 内容	①アーティストとして生きていく上での基礎的な知識と体力と考察力を身につける。 ②歌唱トレーニング及び発声等の基礎トレーニング。 ③どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけてほしい。 ④ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、そしてアーティストとしての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方などを身につける。 オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。						
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	腹式呼吸・発声練習 ※毎時間やるため以下記入省略 前期のおさらいとレベルチェック(自由曲)	授業内容の復習・自主トレ
2	10月12日	講義・演習	課題曲④-1(邦楽) 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
3	10月19日	講義・演習	課題曲④-2(邦楽) 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
4	10月26日	講義・演習	課題曲④-3(邦楽) 【課題】ハモリを理解・表現する。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
5	11月2日	講義・演習	課題曲⑤-1(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)	授業内容の復習・自主トレ
6	11月16日	講義・演習	課題曲⑤-2(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)	授業内容の復習・自主トレ
7	11月23日	講義・演習	課題曲⑤-3(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音) 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
8	11月30日	講義・演習	課題曲⑥-1(ミュージカルソング) 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
9	12月7日	講義・演習	課題曲⑥-2(ミュージカルソング) 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
10	12月14日	講義・演習	課題曲⑥-3(ミュージカルソング) 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。 総評と1位発表	授業内容の復習・自主トレ
11	12月21日	講義・演習	討論・前期に学んだことについて何を身につけてたかを話し合う。 定期テストの説明と、テストへ向けてのチーム分け編成。(グループでやるかソロでやるかは学生が決める。)	授業内容の復習・自主トレ
12	1月11日	講義・演習	定期テスト発表会の練習 ・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
13	1月18日	講義・演習	定期テスト ・自由曲の発表。順位決め。 ・授業内容が生かされているかチェック。	授業内容の復習・自主トレ
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現の幅を学ぶ。	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現する際の集中力を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			毎時間ごと、進行具合によって課題が変わり、それぞれの努力次第ではさらに課題が増えていくので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)				

科目名	JAZZ B (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年						
授業の学習 内容	①JAZZを通して様々な場面で活躍するダンサーを育成するため ②バレエ、ストリートダンス ③1つのジャンルに拘らず何事にも挑戦するダンサー ④アップ、筋トレ等しっかり準備をし、基礎から応用まで細かく伝授する。						
到達目標	ピルエット等の技はもちろん、身体の使い方、導線をしっかり正しい形で表現出来るようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ピルエット等技のトレーニング、振り付け1A	授業を履修する意味を考える。
2	4月24日	講義・演習	ピルエット等技のトレーニング、振り付け1B	授業の振りを鏡なしで練習する。
3	5月8日	講義・演習	ピルエット等技のトレーニング、振り付け2A	授業の振りを鏡なしで練習する。
4	5月15日	講義・演習	ピルエット等技のトレーニング、振り付け2B	授業の振りを鏡なしで練習する。
5	5月22日	講義・演習	ターンジャンプトレーニング、振り付け3A	授業の振りを鏡なしで練習する。
6	5月29日	講義・演習	ターンジャンプトレーニング、振り付け3B	振り付けを所作を意識して練習する。
7	6月5日	講義・演習	ターンジャンプトレーニング、振り付け4A	振り付けを所作を意識して練習する。
8	6月12日	講義・演習	ターンジャンプトレーニング、振り付け4B	振り付けを所作を意識して練習する。
9	6月19日	講義・演習	アクセルジャンプトレーニング、振り付け5A	振り付けを所作を意識して練習する。
10	6月26日	講義・演習	アクセルジャンプトレーニング、振り付け5B	振り付けを所作を意識して練習する。
11	7月3日	講義・演習	アクセルジャンプトレーニング、振り付け6A	振り付けを所作を意識して練習する。
12	7月10日	講義・演習	アクセルジャンプトレーニング、振り付け6B	前期学んだことを意識して後期に繋げる。
13	8月21日	講義・演習	アクセルジャンプトレーニング、振り付け6C	前期学んだことを意識して後期に繋げる。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ストレッチ、ケア、自分の動きを見直す	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード等				

科目名	JAZZ B (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年						
授業の学習 内容	①JAZZを通して様々な場面で活躍するダンサーを育成するため ②バレエ、ストリートダンス ③1つのジャンルに拘らず何事にも挑戦するダンサー ④アップ、筋トレ等しっかり準備をし、基礎から応用まで細かく伝授する。						
到達目標	ピルエット等の技はもちろん、身体の使い方、導線をしっかり正しい形で表現出来るようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の応用クロスフロア、振り付け1A	前期学んだことを一から意識しなおす。
2	10月9日	講義・演習	前期の応用クロスフロア、振り付け1B	授業の振りを鏡なしで練習する。
3	10月16日	講義・演習	前期の応用クロスフロア、振り付け2A	授業の振りを鏡なしで練習する。
4	10月23日	講義・演習	前期の応用クロスフロア、振り付け2B	授業の振りを鏡なしで練習する。
5	10月30日	講義・演習	床技トレーニング、振り付け3A	授業の振りを鏡なしで練習する。
6	11月6日	講義・演習	床技トレーニング、振り付け3B	振り付けを所作を意識して練習する。
7	11月13日	講義・演習	床技トレーニング、振り付け4A	振り付けを所作を意識して練習する。
8	11月20日	講義・演習	床技トレーニング、振り付け4B	振り付けを所作を意識して練習する。
9	11月27日	講義・演習	全ての技を含めたクロスフロア、振り付け5A	振り付けを所作を意識して練習する。
10	12月4日	講義・演習	全ての技を含めたクロスフロア、振り付け5B	振り付けを所作を意識して練習する。
11	12月11日	講義・演習	全ての技を含めたクロスフロア、振り付け6A	振り付けを所作を意識して練習する。
12	12月18日	講義・演習	全ての技を含めたクロスフロア、振り付け6B	一年通して学んだことを最大限に意識する。
13	1月15日	講義・演習	全ての技を含めたクロスフロア、振り付け6C	一年通して学んだことを最大限に意識する。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポートの提出
準備学習 時間外学習			ストレッチ、ケア、自分の動きを見直す	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード等				

科目名	JAZZ & BREAK (3) JAZZ C(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台ダンサー、ダンス講師						
授業の学習 内容	基本的要素のスキルアップ、表現することの楽しさや様々なジャンルに活かせる表現力を学ぶ						
到達目標	基礎力・テクニックのスキル向上、パフォーマンスする意識・表現力を豊かにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	エクササイズを覚え、体の使い方を学ぶ	ストレッチ等
2	4月27日	講義・演習	基本のテクニックを習得する	前回の注意点・振り等の復習
3	5月11日	講義・演習	連続したテクニックを習得する	前回の注意点・振り等の復習
4	5月18日	講義・演習	繋ぎ、リズムを大切に滑らかに振りを繋げる	前回の注意点・振り等の復習
5	5月25日	講義・演習	アームスによる表現、使い方を学ぶ	前回の注意点・振り等の復習
6	6月1日	講義・演習	美しいラインを意識した体の使い方を学ぶ	前回の注意点・振り等の復習
7	6月8日	講義・演習	テクニックを強化し振りの中で活かす	前回の注意点・振り等の復習
8	6月15日	講義・演習	振りを早く覚え流れを大切に踊る	前回の注意点・振り等の復習
9	6月22日	講義・演習	目線や表情を意識してパフォーマンスする	前回の注意点・振り等の復習
10	6月29日	講義・演習	音をとる、音にのる、音への意識を高める	前回の注意点・振り等の復習
11	7月6日	講義・演習	アクセント、緩急の付け方を研究する	前回の注意点・振り等の復習
12	7月13日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点・振り等の復習
13	8月24日	講義・演習	前期を振り返り、各々の課題に取り組む	復習・自身の課題に取り組む
14	8月31日	講義・演習	イベントを通して表現する楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベントを通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		欠席した場合は振りを聞くなどして次週までに覚えておく		
【使用教科書・教材・参考書】				
ダンス用ヒールがあれば持参				

科目名	JAZZ & BREAK (3) BREAK(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にブレイクダンスにて出演 その他ブレイクダンスバトル入賞多数						
授業の学習 内容	ブレイクダンスの要素を細分化し基礎から習得する中で、他ジャンルでは得にくい基礎体力・筋力・バランス感覚等を養い、非日常的な姿勢で静止したり、全身を使って立体的に回転したり、パフォーマンスの中で特に人の目を惹きつける技を体得していく。ストリートダンス全般に関連し、歴史的背景もあり1対1でのバトル等、競い合う精神が一番が高いジャンル。レッスン順序 柔軟→筋カトレニング→フリーズ各種→振り付けまたは技の練習→バトルまたはセッション						
到達目標	ストレッチで柔軟性を養い関節の可動域を広げ、可能な技の範囲を拡大する。筋カトレニングで特に上半身の筋力を養い、脚が床に着かない色々な体勢で支持出来る体作りを行う。倒立が基礎になる技を多用するので、倒立が自立で可能になる為のトレーニングを段階的に行う。名前の付いている基礎となるステップを覚え、反復練習する。ブレイクダンスの歴史と、今も残る特有の文化を学習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ブレイクダンスの歴史と文化の説明	ネット上でブレイクダンスの歴史と文化を調査
2	4月27日	講義・演習	日本でのブレイクダンスシーン解説	日本人有名ダンサーを検索・把握
3	5月11日	講義・演習	ネットでの学習の仕方や検索用語の説明	教わった用語を使用し、ネットにて調査
4	5月18日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の習得	ネットでの動画閲覧
5	5月25日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の実践	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
6	6月1日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の自己分析	動画を撮影し、自身のフリーズの形を分析
7	6月8日	講義・演習	倒立・ステップ数種の習得	動画を撮影し、自身の倒立を分析
8	6月15日	講義・演習	倒立・ステップ数種の実践	動画を撮影し、自身のステップを分析
9	6月22日	講義・演習	倒立・ステップ数種の自己分析	この時点での自身の能力に合った技術を選定
10	6月29日	講義・演習	振り付け・セッションの練習	動画を撮影し、自己分析
11	7月6日	講義・演習	振り付け・セッションの実践	動画を撮影し、見直し
12	7月13日	講義・演習	振り付け・バトルの練習	動画を撮影し、自己分析
13	8月24日	講義・演習	指定の振り付け・バトルの実践	動画を撮影し、見直し
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内で行った内容の反復練習・動画の自己撮影	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	JAZZ & BREAK (4) JAZZ C(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台ダンサー、ダンス講師						
授業の学習 内容	基本的要素のスキルアップ、表現することの楽しさや様々なジャンルに活かせる表現力を学ぶ						
到達目標	前期に学んだことをさらに掘り下げて追及するとともに、プロとしての姿勢を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	基本の復習、スキルアップ	各々の課題、エクササイズ復習
2	10月12日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	前回の注意点、振り等の復習
3	10月19日	講義・演習	筋肉・体幹・体の使い方	前回の注意点、振り等の復習
4	10月26日	講義・演習	引き上げ・美しいラインとアームス	前回の注意点、振り等の復習
5	11月2日	講義・演習	柔軟性・筋肉、しなやかに上体を使う	前回の注意点、振り等の復習
6	11月16日	講義・演習	繊細な表現、ダイナミックな表現	前回の注意点、振り等の復習
7	11月23日	講義・演習	リズム、音を感じて表現する	前回の注意点、振り等の復習
8	11月30日	講義・演習	ロングコンビネーション① 長い振りでの表現	前回の注意点、振り等の復習
9	12月7日	講義・演習	ロングコンビネーション② 曲に合わせた表現の変化	前回の注意点、振り等の復習
10	12月14日	講義・演習	ロングコンビネーション③ 振り付けの中で自分の表現ができるようにする	前回の注意点、振り等の復習
11	12月21日	講義・演習	総括、課題の見直し	前回の注意点、振り等の復習
12	1月11日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振り等の復習
13	1月18日	講義・演習	後期振り返り、総まとめ	テストでの注意点等の復習
14	2月1日	講義・演習	イベントを通して表現する楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベントを通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		欠席した場合は振りを聞くなどして次週までに覚えておく		
【使用教科書・教材・参考書】				
ダンス用ヒールがあれば持参				

科目名	JAZZ & BREAK (4) BREAK(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にブレイクダンスにて出演 その他ブレイクダンスバトル入賞多数						
授業の学習 内容	群舞でのパフォーマンスと区別し、一人で踊る事への意義を実感してもらう。バトルを通じて、競争心・コミュニケーション・相手への尊重等の育成を図る。難易度の高い技の習得に向かい、出来た時の達成感を感じる事で、途中で屈しない精神を養う。						
到達目標	前期で培われた柔軟性・筋力・覚えたステップを基礎とし、1人で踊る為の振り付けを自分で組み立てる。バトルを想定し、鏡では無く、対戦相手にエネルギーを向けて踊る訓練をする。振り付けとは別で、即興性やミスした際にリカバリーする能力を高める。1対1またはチーム分けをし、ダンスバトルを実践する。バトルのモチベーションとは別で、円になりお互いを尊重しながら見せ合うだけのセッションを行う。大技の習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの解説 ステップ数種	各自目標とする難度技の設定
2	10月12日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの練習 ステップ数種	ネットや動画サイトを調べ、難度技の理論を分析
3	10月19日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの実践 振り付け	自身の柔軟度・筋力を動画撮影し分析
4	10月26日	講義・演習	高難度の倒立の解説 ステップ数種	倒立に関する記事や動画をネットで閲覧
5	11月2日	講義・演習	高難度の倒立の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
6	11月16日	講義・演習	高難度の倒立の実践 振り付け	高難度の倒立の反復練習
7	11月23日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の解説 ステップ数種	フリーズに関する記事や動画をネットで閲覧
8	11月30日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
9	12月7日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の実践 振り付け	高難度のフリーズの反復練習
10	12月14日	講義・演習	即興・リカバリーの解説・練習	即興・リカバリーに関する記事や動画をネットで閲覧
11	12月21日	講義・演習	即興・リカバリーの実践	動画を撮影し分析
12	1月11日	講義・演習	バトルの解説、実践	自身の振り付けを事前に構想
13	1月18日	講義・演習	チーム分けバトルまたは1対1のバトル	実践動画を分析し、見直し・考察
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業内で行った内容の反復練習・動画の自己撮影		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	HIP HOP A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師歴14年、現役ダンサーとしても活動中。						
授業の学習 内容	・hiphopdanceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style...)</li> <li>・質の向上を目指す。</li> <li>・ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。</li> <li>・インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	hiphopの授業を受ける意味への理解と前期目標の設定、基本の体作り。	学ぶ意味、前期目標の設定、基本の体作り。
2	4月24日	講義・演習	身体のパーツ、立ち方、ポジションを学ぶ。音楽の基本リズムを知る。	自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
3	5月8日	講義・演習	音楽の基本リズムと年代を学ぶ。アイソレーション～ジャンルによって違う使い方～	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
4	5月15日	講義・演習	hiphop, streetdanceに用いるアイソレーション～年代、土地によって違う使い方、魅せ方を深める～	基礎体力の向上、音楽、年代とスタイルを知る。
5	5月22日	講義・演習	hiphop, streetdanceに用いるアイソレーション～ジャンルによって違う使い方、魅せ方を学ぶ～	OLD SCHOOLアイソレーション～ジャンルによって違う使い方、魅せ方を学ぶ～
6	5月29日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、重心移動、骨盤からなる足の出し方、ステップの連動の確認～応用に繋ぐ。	用語復習、基礎ステップの復習。
7	6月5日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、基本ステップの強化。	ステップ用語と動きの見直し、内容を一致させ質を高める。
8	6月12日	講義・演習	音楽とスタイルを感じてアイソレーションとステップの組み合わせを踊る事に慣れる。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。
9	6月19日	講義・演習	音楽、年代、スタイルを感じてアイソレーションとステップの組み合わせを踊る事に慣れる。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。
10	6月26日	講義・演習	時代による音楽とダンスの違いを理解し、アイソレーションとステップを意識的に繋ぐ。	時代による音楽とダンスの違いを理解し、アイソレーションとステップのリマインド。
11	7月3日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。
12	7月10日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較、癖や傾向を考察する。
13	8月21日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
準備学習 時間外学習			授業前に各自ストレッチ。メンタルを授業へ向け、最大限取り組めるように集中させること。授業中に気付いたことは紙ノートに書いておく。jazz, soul, funk, R&B, hiphop (特にUS/UK) 音楽を沢山聴く、ダンスに関連する動画を観る。	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	HIP HOP A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師歴14年、現役ダンサーとしても活動中。						
授業の学習 内容	・hiphopdanceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style...)</li> <li>・質の向上を目指す。</li> <li>・ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。</li> <li>・インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習、後期の目標を設定。	各自課題設定、取り組む。
2	10月9日	講義・演習	アイソレーションコントロールの応用を研究、自らこれを使い踊れるようにする。	アイソレーションコントロールの応用を研究、踊れるようにする。
3	10月16日	講義・演習	ステップコントロールの応用を研究、自らこれを使い踊れるようにする。	基礎体力の向上、ステップ復習、確認。
4	10月23日	講義・演習	アイソレーション、ステップテクニックの確認。	アイソレーション、ステップテクニックの復習、確認。
5	10月30日	講義・演習	音楽とスタイルを感じたダンスの確認、質上げ。	時代や土地による音楽的要素、運動的要素の復習、確認
6	11月6日	講義・演習	音楽とスタイルを感じたダンスの確認、深堀り、質上げ。	様々な年代の音楽を聴き、理解し、踊れるようにする。
7	11月13日	講義・演習	フィジカルの組み合わせ応用を学ぶ。	基礎体力の向上、ステップ、テクニックの見直し。
8	11月20日	講義・演習	old/newstyleの音楽的要素を含め、組み合わせ応用を学ぶ。	基礎体力の向上、ステップ、テクニックの見直し。
9	11月27日	講義・演習	音楽と時代背景、スタイルを見極め自ら踊る。	ステップ、テクニックの見直し、確認。音楽を沢山聴いてイメージする。
10	12月4日	講義・演習	セッション、サイファー、バトルの共通と違い～インプロに慣れる。～	基礎体力の向上、音楽とスタイルの見極め復習。
11	12月11日	講義・演習	インプロで魅せる。	学んだものを復習+個性、アイデアを色付けイメージさせる。
12	12月18日	講義・演習	1年間のまとめ、次年度への目標設定。	各自反省点など見出して、次年度どのようにしたらよいか考察。
13	1月15日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
準備学習 時間外学習			授業前に各自ストレッチ。メンタルを授業へ向け、最大限取り組めるように集中させること。授業中に気付いたことは紙ノートに書いておく。jazz,soul,funk,R&B,hiphop(特にUS/UK)音楽を沢山聴く、ダンスに関連する動画を観る。	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	HIP HOP B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	滑川裕紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・インストラクターとして活動						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力の向上。安定してリズムが取れ、自分の身体をコントロールする。</li> <li>・ダンス全般の基礎となる身体作りも兼ねる。</li> <li>・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養いたい。</li> <li>・基礎トレーニングを基盤にしつつ、振付での応用を行なっていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。</li> <li>・振付を自分の踊りに変換して、個性を出して踊ることができる。</li> <li>・素早く振付を覚える。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	基礎中心の身体作り	アイソレーション/リズムトレーニング
2	4月28日	講義・演習	基礎中心の身体作り/体幹重視	体幹トレーニング
3	5月12日	講義・演習	基礎中心の身体作り/振付指導	アイソレーション/体幹トレーニング
4	5月19日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ/振付指導	ボディーコントロールトレーニング
5	5月26日	講義・演習	自分の体を理解する/振付指導	重心移動の意識
6	6月2日	講義・演習	ボディコントロール/振付指導	ボディーコントロール重視
7	6月9日	講義・演習	基礎的なリズムキープ/振付指導	様々なBPMでリズムキープ
8	6月16日	講義・演習	基礎的なアイソレーション/振付指導	アイソレーションでアクセントを取る
9	6月23日	講義・演習	振付メイン/振りを正しく覚える	振付復習/リズムキープ
10	6月30日	講義・演習	振付メイン/振りを間違えずに踊る	振付復習/アイソレーション
11	7月7日	講義・演習	振付メイン/自分の弱みを理解する	映像で自分の踊りをチェック
12	7月14日	講義・演習	自分の弱点を補うための講義	課題を見つける為に、自己分析
13	8月25日	講義・演習	弱点を理解した上で、意識して踊る	自分の踊りを理解するように自己分析
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		youtubeなどでHIPHOPを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	滑川裕紀
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・インストラクターとして活動						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力の向上。安定してリズムが取れ、自分の身体をコントロールする。</li> <li>・ダンス全般の基礎となる身体作りも兼ねる。</li> <li>・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養いたい。</li> <li>・基礎トレーニングを基盤にしつつ、振付での応用を行なっていく。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。</li> <li>・振付を自分の踊りに変換して、個性を出して踊ることができる。</li> <li>・素早く振付を覚える。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	基礎の応用/音をしっかりと聞く	基礎を徹底的に反復練習
2	10月13日	講義・演習	リズム+ステップ/アクセントを取る	ステップを入れながらリズムキープ
3	10月20日	講義・演習	基礎の向上/振付でメロディを取る	身体作り/トレーニング
4	10月27日	講義・演習	アイソレ+リズム/踊りに抑揚をつける	色々な意識で音楽を聴くようにする
5	11月3日	講義・演習	楽曲を理解して、振付を踊る。	振付の復習/反復して音楽を聴く
6	11月17日	講義・演習	リズム強化/歌詞を理解して踊る。	様々な方法でリズムキープ
7	11月24日	講義・演習	アイソレ強化/表現力をつける。	様々なやり方でアイソレーション練習
8	12月1日	講義・演習	リズム応用/振付を理解する。	振付練習/リズムキープ
9	12月8日	講義・演習	アイソレ応用/振付に沿って自分を出す	自分の踊りを確認・練習
10	12月15日	講義・演習	表現力の向上/振付を考えてみる。	自分にあった楽曲を選ぶ
11	1月12日	講義・演習	流れに沿って、振付を作ることを学ぶ	曲に合わせて振付を作ってみる
12	1月19日	講義・演習	踊りで自分を表現することを学ぶ。	自分に一番合う踊りを研究する
13	2月2日	講義・演習	総合的なダンス表現を身につける	実践し、研究を繰り返して、自分を見つめる
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して対応力を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して対応力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		youtubeなどでHIPHOPを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP C(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサー/振付 BTS・KESHA・MIYAVI・w-inds.等 舞台、映画、その他ゲームやアニメ。						
授業の学習 内容	①色々なことジャンルのダンスを一つの振り付けにした際に自分でどう魅せるかを考え、実践していく為。 ②基本的にどのジャンルも関わってくるが、メインはHIPHOP。1年生の間に学んだことや他のクラスで覚えた事を振付の中でどのように活かしていくかの実践。 ③ただ振付を踊るだけではなく、手の出し方一つ、指先まで自分なりに拘って踊るダンサーになって欲しい。 ④基本的に同じ曲を2週に渡って行う。長さはその時によるが、目安としては2週目で8～12エイト。 他の人と合わせるのもダンサーとしてのスキルなので、揃える所はきちんとと言われた通りに、フリーな所は思いっきりフリーに踊るようにして欲しい。						
到達目標	学生が達成すべき行動目標「なにが出来るようになるか」と学習内容との関係を記載 ※振りを覚えるのを早くなる。 ※1回の授業で振付は覚えきって、自分なりに詰められる時間的余裕が持てるようになるまでが目標。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	身体作りとダンスについて考える。今後毎回やる。	授業の内容を自主練習
2	5月10日	講義・演習	1年生の時の基礎復習	授業の内容を自主練習
3	5月17日	講義・演習	1年生の時の復習踊り込み	授業の内容を自主練習
4	5月24日	講義・演習	1年生時の応用復習	授業の内容を自主練習
5	5月31日	講義・演習	1年生時の応用踊り込み	授業の内容を自主練習
6	6月7日	講義・演習	より難しい振付の練習	授業の内容を自主練習
7	6月14日	講義・演習	前回の復習と踊り込み	授業の内容を自主練習
8	6月21日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた振付け	授業の内容を自主練習
9	6月28日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた振付けの応用と踊り込み	授業の内容を自主練習
10	7月5日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた自由度の高い振付	授業の内容を自主練習
11	7月12日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた自由度高い振付の踊り込み	授業の内容を自主練習
12	7月19日	講義・演習	テスト振付	授業の内容を自主練習
13	8月23日	講義・演習	テスト	授業の内容を自主練習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してHIPHOPの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してHIPHOPの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどを見てHIPHOPを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP C(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	※ダンサー/振付 BTS・KESHA・MIYAVI・w-inds.等 舞台、映画、その他ゲームやアニメ。						
授業の学習 内容	①色々なことジャンルのダンスを一つの振り付けにした際に自分でどう魅せるかを考え、実践していく為。 ②基本的にどのジャンルも関わってくるが、メインはHIPHOP。1年生の間に学んだことや他のクラスで覚えた事を振付の中でどのように活かしていくかの実践。 ③ただ振付を踊るだけではなく、手の出し方一つ、指先まで自分なりに拘って踊るダンサーになって欲しい。 ④基本的に同じ曲を2週に渡って行う。長さはその時によるが、目安としては2週目で8～12エイト。 他の人と合わせるのもダンサーとしてのスキルなので、揃える所はきちんとと言われた通りに、フリーな所は思いっきりフリーに踊るようにして欲しい。						
到達目標	学生が達成すべき行動目標「なにが出来るようになるか」と学習内容との関係を記載 ※振りを覚えるのを早くなる。 ※1回の授業で振付は覚えきって、自分なりに詰められる時間的余裕が持てるようになるまでが目標。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	身体作りとダンスについて考える。今後毎回やる。	授業の内容を自主練習
2	10月11日	講義・演習	1年生の時の基礎復習	授業の内容を自主練習
3	10月18日	講義・演習	1年生の時の復習踊り込み	授業の内容を自主練習
4	10月25日	講義・演習	1年生時の応用復習	授業の内容を自主練習
5	11月1日	講義・演習	1年生時の応用踊り込み	授業の内容を自主練習
6	11月8日	講義・演習	より難しい振付の練習	授業の内容を自主練習
7	11月15日	講義・演習	前回の復習と踊り込み	授業の内容を自主練習
8	11月22日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた振付け	授業の内容を自主練習
9	11月29日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた振付けの応用と踊り込み	授業の内容を自主練習
10	12月6日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた自由度の高い振付	授業の内容を自主練習
11	12月13日	講義・演習	HIPHOPの技を多く入れた自由度高い振付の踊り込み	授業の内容を自主練習
12	12月20日	講義・演習	テスト振付	授業の内容を自主練習
13	1月10日	講義・演習	テスト	授業の内容を自主練習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してHIPHOPの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してHIPHOPの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどを見てHIPHOPを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	Girls HIP HOP&コンテンポラリー(3) Girls HIP HOP A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	文元杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	HIP HOPダンス講師(平成10年～)						
授業の学習 内容	HipHop,R&B,Reggae,Jpop,Kpopなど様々なジャンルのダンスを学び、昨今のジャンルレス、ジェンダーレスな コレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学び、実際に振り付けを 踊り表現力を磨く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	授業内容を確認、把握する	
2	4月27日	講義・演習	アイソレーション、シンプルな動きで表現力をつける	課題曲を聞いておく
3	5月11日	講義・演習	上半身のしなやかな動き、ウェーブを理解し踊る	前回の復習
4	5月18日	講義・演習	腰、下半身の動き、ウォーキング	アイソレーションを復習しておく
5	5月25日	講義・演習	振り付けを自分らしく踊る	前回の復習をしておく
6	6月1日	講義・演習	ヒールをはいて基礎練習、ウォーキングができる	課題曲を聞いておく
7	6月8日	講義・演習	ヒールをはいて基礎ができる、振りを覚える	前回の復習をしておく
8	6月15日	講義・演習	ヒールをはいてセクシーな振り付けを踊る	前回の復習をしておく
9	6月22日	講義・演習	レゲエのリズム、ニュアンスのある動きを身につける	課題曲を聞いておく
10	6月29日	講義・演習	レゲエのリズム、振り付けを覚える	前回の復習をしておく
11	7月6日	講義・演習	前回の振り付けを表現力をプラスして踊る	前回の復習をしておく
12	7月13日	講義・演習	テストの振り付けを理解し、覚える	課題曲を聞いておく
13	8月24日	講義・演習	テスト	前回の復習をしておく
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでGirlsHiphopを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	Girls HIP HOP&コンテンポラリー(3) コンテンポラリー(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①動きのクオリティーを高め、思考の使い方の向上。 ②バレエ、テーマパーク、ジャズダンス等に应用可能。 ③理にかなっている動き(骨と筋肉の正しい連動)を習得して、論理的な考え方をもちたい。 ④コンテンポラリーダンスの動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動きを学ぶ。振付構成法の講義を行う。						
到達目標	踊りがスムーズに動ける様になり、尚且つ、ダイナミズムなダンスを目指す。論理的な思考を身につける事で動きの応用ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	①身体の骨とインナーマッスルの確認と応用。	1年次のレッスン経験の確認。
2	4月27日	講義・演習	②身体の骨とインナーマッスル応用と発展。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
3	5月11日	講義・演習	③フロアセンターエクササイズレベルアップと新ステップ	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
4	5月18日	講義・演習	④ ③の反復	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
5	5月25日	講義・演習	⑤ ④の反復と新コンビネーションの理解。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
6	6月1日	講義・演習	⑥ ⑤の反復と新コンビネーションの反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
7	6月8日	講義・演習	⑦ ⑥の反復と新コンビネーションの応用。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
8	6月15日	講義・演習	⑧ ⑦の反復と新コンビネーションの発展。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
9	6月22日	講義・演習	⑨ ⑧の反復と新コンビネーションの理解。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
10	6月29日	講義・演習	⑩ ⑨の反復と新コンビネーションの反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
11	7月6日	講義・演習	⑪ ⑩の反復と新コンビネーションの応用。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
12	7月13日	講義・演習	振付構成法の講義・理解(日程変更あり)	筆記用具持参。復習、理解。
13	8月24日	講義・演習	振付構成法の講義・動画の読み取り(日程変更あり)	筆記用具持参。復習、理解。
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内容を理解力、確認して、自身のスキルアップを計画的に考えて復習、ストレッチ等反復をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体ラインが見える物。裸足or靴下。				

科目名	Girls HIP HOP&コンテンポラリー(4) Girls HIP HOP A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	文元杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	HIP HOPダンス講師(平成10年～)						
授業の学習 内容	HipHop,R&B,Reggae,Jpop,Kpopなど様々なジャンルのダンスを学び、昨今のジャンルレス、ジェンダーレスなコレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学び、実際に振り付けを踊り表現力を磨く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イスを使った振り付けを理解する	課題曲を聞いておく
2	10月12日	講義・演習	イスを使った振り付けに表現力をつける	前回の復習をしておく
3	10月19日	講義・演習	イスを使った振り付けを自分らしく正確に踊る	前回の復習をしておく
4	10月26日	講義・演習	リズム、パワフルに踊る為の基礎、振り付けを覚える	課題曲を聞いておく
5	11月2日	講義・演習	振り付けを覚え、表現力を磨く	前回の復習をしておく
6	11月16日	講義・演習	パワフルな振り付けをヒールをはいて踊る	前回の復習をしておく
7	11月23日	講義・演習	ウォーキングの練習、ウォーキングを取り入れた振り付け	課題曲を聞いておく
8	11月30日	講義・演習	振り付けを覚え、表現力をつける	前回の復習をしておく
9	12月7日	講義・演習	振り付けにフォーメーションをつけて踊る	前回の復習をしておく
10	12月14日	講義・演習	アイソレ、リズム、ウォーキングの再確認	課題曲を聞いておく
11	12月21日	講義・演習	テストの振り付けを覚える	前回の復習をしておく
12	1月11日	講義・演習	テストの振り付けにフォーメーションをつけて踊る	前回の復習をしておく
13	1月18日	講義・演習	テスト	前回の復習をしておく
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでGirlsHipopを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	Girls HIP HOP&コンテンポラリー(4) コンテンポラリー(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	<p>* 前期のレッスンの反復・応用・発展。</p> <p>①動きのクオリティーを高め、思考の使い方の向上。</p> <p>②バレエ、テーマパーク、ジャズダンス等に应用可能。</p> <p>③理にかなっている動き(骨と筋肉の正しい運動)を習得して、論理的な考え方を持て欲しい。</p> <p>④コンテンポラリーダンスの動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動きを学ぶ。メンタルの講義行う。</p>						
到達目標	踊りがスムーズに動ける様になり、尚且つアカデミック、ダイナミズムなダンスを目指す。論理的な思考を身につける事で動きの応用、発展ができるようになる。メンタル講義で更なるモチベーションの向上。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期のレッスンの確認。	前期レッスンの反省と確認。
2	10月12日	講義・演習	前期のレッスンの反省と反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
3	10月19日	講義・演習	①フロアーセンターエクササイズ・ステップ・コンビネーション	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
4	10月26日	講義・演習	② ①の確認。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
5	11月2日	講義・演習	③ ②の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
6	11月16日	講義・演習	④ ③の応用。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
7	11月23日	講義・演習	⑤ ④の発展。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
8	11月30日	講義・演習	⑥フロアーセンターエクササイズの反復。新ステップ・コンビネーション	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
9	12月7日	講義・演習	⑦ ⑥の反復。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
10	12月14日	講義・演習	⑧ ⑦の応用。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
11	12月21日	講義・演習	⑨ ⑧の発展。	前回授業復習(確認、理解)・ストレッチ等
12	1月11日	講義・演習	メンタル講義(今に生きる本当の意味)	筆記用具持参。復習、理解。
13	1月18日	講義・演習	メンタル講義(人間関係の意味と成長)	筆記用具持参。復習、理解。
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して動きと表現力を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内容を理解力、確認して、自身のスキルアップを計画的に考えて復習、ストレッチ等反復をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着は身体ラインが見える物。裸足or靴下。				

科目名	Girls HIP HOP B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	文元杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	HIP HOPダンス講師(平成10年～)						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンサーとしての身体造り</li> <li>・体幹トレーニング&amp;アイソレーション(踊るための基礎造り)</li> <li>・ダンスを通して人間性の向上</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎体力&amp;身体造り</li> <li>・パフォーマンス向上</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	基礎体力&身体造り	授業に対する心構え
2	4月27日	講義・演習	基礎体力&身体造り	ストレッチの流れを復習
3	5月11日	講義・演習	基礎体力&身体造り	アイソレーションの復習
4	5月18日	講義・演習	基礎体力&身体造り	前回の振り付けの復習
5	5月25日	講義・演習	基礎体力&身体造り	課題曲を聞いておく
6	6月1日	講義・演習	基礎体力&身体造り	復習しておく
7	6月8日	講義・演習	基礎体力&身体造り	復習しておく
8	6月15日	講義・演習	基礎体力&身体造り	課題曲を聞いておく
9	6月22日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
10	6月29日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	振り付けの復習
11	7月6日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
12	7月13日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
13	8月24日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	振り付けの復習
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基礎身体造りは併用しつつ、メンタル部分の向上。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	Girls HIP HOP B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	文元杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	HIP HOPダンス講師(平成10年～)						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンサーとしての身体造り</li> <li>・体幹トレーニング&amp;アイソレーション(踊るための基礎造り)</li> <li>・ダンスを通して人間性の向上</li> <li>・振り入れの速さ</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎体力&amp;身体造り</li> <li>・パフォーマンス向上</li> <li>・表現力向上</li> <li>・対応能力&amp;コミュニケーション能力</li> <li>・現場対応能力</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	基礎体力&身体造り	体幹を鍛えておく
2	10月12日	講義・演習	基礎体力&身体造り	前回の復習をしておく
3	10月19日	講義・演習	基礎体力&身体造り	前回の復習をしておく
4	10月26日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
5	11月2日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	前回の復習をしておく
6	11月16日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
7	11月23日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 短時間で自分のモノに出来る対応能力	前回の復習をしておく
8	11月30日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 短時間で自分のモノに出来る対応能力	課題曲を聞いておく
9	12月7日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 短時間で自分のモノに出来る対応能力	前回の復習をしておく
10	12月14日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 本番同様の撮影	前回の復習をしておく
11	12月21日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 本番同様の撮影	課題曲を聞いておく
12	1月11日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 本番同様の撮影	前回の復習をしておく
13	1月18日	講義・演習	テスト	前回の復習をしておく
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基礎身体造りは併用しつつ、メンタル部分の向上。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	オールドスクール(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役ダンサーとして活動中。						
授業の学習 内容	STREETDANCEの中のOLD SCHOOL(主に1960～1990年代)について学ぶ、実践する。						
到達目標	時代による様々なスタイルのダンスの特徴や考え方、様式を理解し、自ら体現出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	文化知識、ジャンルの説明、身体作り	身体づくり、ストレッチ
2	4月24日	講義・演習	ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール	実習した身体の一部のみをコントロールする練習、ジャンルの種類や名称を覚える
3	5月8日	講義・演習	ジャンルの違い習得+ボディーコントロール+リズムキープ	身体のパーツコントロール、種類の確認
4	5月15日	講義・演習	ボディーコントロールによるジャンルの違いの習得+リズムキープ	コントロール、種類使い方の確認
5	5月22日	講義・演習	ボディーコントロールによるジャンルの違いの習得	4回の授業を経て得意、苦手な部分を理解しよりよくする為練習
6	5月29日	講義・演習	文化知識、リズムキープ	ジャンルの違い、区別を理解しておく
7	6月5日	講義・演習	文化知識、リズムキープ②	ジャンルの違い区別を理解しておく
8	6月12日	講義・演習	文化知識、リズムキープ③	ジャンルの違い、区別、使い方の復習
9	6月19日	講義・演習	文化知識、リズムキープ④	ジャンルの違い、区別を理解し踊れるようにする
10	6月26日	講義・演習	今まで学んだ知識、表現方法の復習、チェック	6の授業で覚えた名称や使い方を復習
11	7月3日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現	技+技を重ねて踊れるように練習
12	7月10日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現②	インプロの実践練習 1分は出来るように練習
13	8月21日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現③	インプロの実践練習 3分は出来るように練習
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方を学ぶ。	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベントを通して、ダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方工夫を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	オールドスクール(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役ダンサーとして活動中。						
授業の学習 内容	STREETDANCEの中のOLD SCHOOL(主に1960～1990年代)について学ぶ、実践する。						
到達目標	時代による様々なスタイルのダンスの特徴や考え方、様式を理解し、自ら表現出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技	身体づくり、ストレッチ
2	10月9日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技②	実習した身体の一部のみをコントロールする練習、 ジャンルの種類や名称を覚える
3	10月16日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技③	身体のパーツコントロール、種類の確認
4	10月23日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技④	コントロール、種類使い方の確認
5	10月30日	講義・演習	見直し、復習チェック	4回の授業を経て得意、 苦手な部分を理解しよりよくする為練習
6	11月6日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)	ジャンルの違い、区別を理解しておく
7	11月13日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)②	ジャンルの違い区別を理解しておく
8	11月20日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)③	ジャンルの違い、区別、使い方の復習
9	11月27日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)④	ジャンルの違い、区別を理解し踊れるようにする
10	12月4日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、 ボディーコントロール+技と技をつなぐ(応用)⑤	6の授業で覚えた名称や使い方を復習
11	12月11日	講義・演習	時代で違うダンスの体現 インプロビゼーション(フリースタイル)に挑戦	技+技を重ねて踊れるように練習
12	12月18日	講義・演習	時代で違うダンスの体現 インプロビゼーション(フリースタイル)に挑戦②	インプロの実践練習 1分は出来るように練習
13	1月15日	講義・演習	総まとめ	インプロの実践練習 3分は出来るように練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通してダンスの基本の大切さ、 実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方を学ぶ。	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベントを通して、ダンスの基本の大切さ、 実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方工夫を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	テーマパーク A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	面高祐太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007~2011年 東京ディズニーリゾートでダンサーを勤め、現在はインストラクターとして指導に当たる。						
授業の学習 内容	オーディションへの対応能力、技術、見せ方が必要。バレエ、JAZZ ダンスが基礎。プロになる為のメンタル、技術を上げて夢を掴んでほしい。						
到達目標	鏡なしで8x8個性豊かに踊れること。人を魅了する踊りをする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ピルエット、シエネ基礎、8x8振付	基礎の反復練習。自分に活かすことなどを考える。
2	5月9日	講義・演習	ピルエット、シエネ応用、8x8振付	ピルエット、シエネの確認。自分に活かすことなどを考える。
3	5月16日	講義・演習	バットマン、アチチュード基礎、8x8振付	バットマン、アチチュード基礎の反復練習。
4	5月23日	講義・演習	バットマン、アチチュード応用、8x8振付	応用、振付の踊りこみ。
5	5月30日	講義・演習	クロスフロア、基礎、8x8振付	クロスフロアに出てくる技術の確認
6	6月6日	講義・演習	クロスフロア、応用、8x8振付	クロスフロア、振付の踊りこみ
7	6月13日	講義・演習	ピルエット、シエネ基礎、8x8振付	ピルエット、シエネ基礎の確認
8	6月20日	講義・演習	ピルエット、シエネ応用、8x8振付	ピルエット、シエネ応用の確認。振付の踊りこみ
9	6月27日	講義・演習	アチチュード、ピケ、シエネ基礎、8x8振付	全ての基礎を再確認し反復練習。
10	7月4日	講義・演習	アチチュード、ピケ、シエネ応用、8x8振付	応用、振付の踊りこみ。
11	7月11日	講義・演習	表現力強化、バットマン基礎、8x8振付	バットマン、振付の確認。
12	7月18日	講義・演習	表現力強化、バットマン応用、8x8振付	自身の表現力を研究する。
13	8月22日	講義・演習	オーディション形式、10x8振付、鏡なし	自己評価をし、後期への目標を作る。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTube等を見てテーマパークダンサーの表現力や魅力を学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	テーマパーク A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	面高祐太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2007~2011年 東京ディズニーリゾートでダンサーを勤め、現在はインストラクターとして指導に当たる。						
授業の学習 内容	オーディションへの対応能力、技術、見せ方が必要。バレエ、JAZZ ダンスが基礎。プロになる為のメンタル、技術を上げて夢を掴んでほしい。						
到達目標	鏡なしで8x14個性豊かに踊れること。人を魅了する踊りをする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	表現力強化、バットマン基礎、8x10振付	基礎の反復練習。自分に活かすことなどを考える。
2	10月10日	講義・演習	表現力強化、バットマン応用、8x10振付	自身の表現力の研究。自分に活かすことなどを考える。
3	10月17日	講義・演習	クロスフロア、基礎、8x10振付	クロスフロア基礎の反復練習。
4	10月24日	講義・演習	クロスフロア、応用、8x10振付	応用、振付の踊りこみ。
5	10月31日	講義・演習	ピルエット、ピケ、シエネ基礎、8x10振付	ピルエット、ピケ、シエネ基礎の確認。
6	11月7日	講義・演習	ピルエット、ピケ、シエネ応用、8x10振付	応用、振付の踊りこみ。
7	11月14日	講義・演習	クロスフロア基礎、3人ずつ8x12振付	クロスフロア基礎の確認
8	11月21日	講義・演習	クロスフロア応用、3人ずつ8x12振付	応用の確認。振付の踊りこみ。
9	11月28日	講義・演習	オーディション形式、12x8振付、鏡なし	オーディションを想定して振付を踊りこむ。
10	12月5日	講義・演習	オーディション形式、12x8踊りこみ、鏡なし	自己採点をし、今後の自分の課題を見つける。
11	12月12日	講義・演習	自己PR強化、14x8振付	自身の自己PRを探す。
12	12月19日	講義・演習	自己PR強化、14x8踊りこみ	自身の自己PRの強化。
13	1月9日	講義・演習	表現力強化、クロスフロア応用、14x8振付	表現力、基礎力、応用力、全てを研究する。
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTube等を見てテーマパークダンサーの表現力や魅力を学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	Style JAZZ&パークダンサー(3) Style JAZZ (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役として活動中。						
授業の学習 内容	ジャズダンスに必要な柔軟性、基礎体力、リズム感、体感を作る。ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上。コンビネーション(振付)を約2回の授業で1曲覚えてマスターする。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	腹式呼吸・胸式呼吸を覚える	授業内容を自主練習
2	4月28日	講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
3	5月12日	講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4	5月19日	講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5	5月26日	講義・演習	筋カトレニングのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
6	6月2日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ(重心のかけ方)	授業内容を自主練習
7	6月9日	講義・演習	様々なターンの説明、パドブレステップを学ぶ	授業内容を自主練習
8	6月16日	講義・演習	ピルエットターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9	6月23日	講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10	6月30日	講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11	7月7日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12	7月14日	講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13	8月25日	講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してフォーメーション作りを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着、シューズ				

科目名	Style JAZZ&パークダンサー(4) Style JAZZ (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役として活動中。						
授業の学習 内容	ジャズダンスに必要な柔軟性、基礎体力、リズム感、体感を作る。ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上。コンビネーション(振付)を約2回の授業で1曲覚えてマスターする。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	丹田呼吸を学ぶ	授業内容を自主練習
2	10月13日	講義・演習	ボディウェーブを学ぶ	授業内容を自主練習
3	10月20日	講義・演習	アームウェーブを学ぶ	授業内容を自主練習
4	10月27日	講義・演習	足裏の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
5	11月3日	講義・演習	空間認識能力を育む	授業内容を自主練習
6	11月17日	講義・演習	表現力を鍛える	授業内容を自主練習
7	11月24日	講義・演習	足首を強化する(ルルベアップ)	授業内容を自主練習
8	12月1日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ(片足)	授業内容を自主練習
9	12月8日	講義・演習	体幹トレーニングを学ぶ	授業内容を自主練習
10	12月15日	講義・演習	ビルエットターンをきれいに回る (2回転以上)	授業内容を自主練習
11	1月12日	講義・演習	シェネターン・アラベスクターンを きれいに回る	授業内容を自主練習
12	1月19日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
13	2月2日	講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を身につける	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して踊りを楽しむことを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着、シューズ				

科目名	Jazz&Heels(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池上由布
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーとしてPV/CM/舞台/LIVE等、幅広く活躍中。ダンスカンパニー『ELEVENPLAY』メンバー						
授業の学習 内容	パワフルでセクシーに踊るために基本的なストレッチ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学ぶ。ヒールを美しく履くための身体作りを研究し、ヒールを履いてのダンス、またはジェンダーレスな時代の振付に対応すべく表現を身につける。						
到達目標	①それぞれの個性を活かしたダンスを身につける ②ヒールを履いてプレずに踊る、またそのための体幹をつくる ③女性らしい動きを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	授業内容を把握する	ストレッチの流れを復習
2	4月28日	講義・演習	アイソレーションの理解、ヒールを履いてみる	ストレッチの流れを復習
3	5月12日	講義・演習	上半身のしなやかな動き、ウェーブを理解し、踊る	ウェーブを確認しておく
4	5月19日	講義・演習	腰のリズム、動きを理解する	前回の復習
5	5月26日	講義・演習	コンビネーションを自分らしく踊る	振り、曲の確認
6	6月2日	講義・演習	リズム、ダイナミックな振りを理解する	課題曲を聴いておく
7	6月9日	講義・演習	振り付けを覚える	復習しておく
8	6月16日	講義・演習	ダイナミックに踊る	復習しておく
9	6月23日	講義・演習	振付を1人で踊る	課題曲を聴いておく
10	6月30日	講義・演習	自分らしくヒールで踊る	課題曲を聴いておく
11	7月7日	講義・演習	人の踊りを見る	考察して見る
12	7月14日	講義・演習	前期学んだことを確認	曲を聴いておく
13	8月25日	講義・演習	テスト	学習のまとめ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			トレーニング必須	
【使用教科書・教材・参考書】				
ヒールorダンスヒール、スキンシューズ				

科目名	Jazz&Heels(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池上由布
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーとしてPV/CM/舞台/LIVE等、幅広く活躍中。ダンスカンパニー『ELEVENPLAY』メンバー						
授業の学習 内容	パワフルでセクシーに踊るために基本的なストレッチ、アイソレーション、リズム、ウォーキング、ポージングを学ぶ。ヒールを美しく履くための身体作りを研究し、ヒールを履いてのダンス、またはジェンダーレスな時代の振付に対応すべく表現を身につける。						
到達目標	①それぞれの個性を活かしたダンスを身につける ②ヒールを履いてブレずに踊る、またそのための体幹をつくる ③女性らしい動きを身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	授業内容を把握する	ストレッチの流れを復習
2	10月13日	講義・演習	アイソレーションの理解	ストレッチの流れを復習
3	10月20日	講義・演習	上半身のしなやかな動き、ウェーブを理解し、踊る	ウェーブを確認しておく
4	10月27日	講義・演習	腰のリズム、動きを理解する	前回の復習
5	11月3日	講義・演習	コンビネーションを自分らしく踊る	振り、曲の確認
6	11月17日	講義・演習	リズム、ダイナミックな振りを理解する	課題曲を聴いておく
7	11月24日	講義・演習	振り付けを覚える	復習しておく
8	12月1日	講義・演習	ダイナミックに踊る	復習しておく
9	12月8日	講義・演習	振付を1人で踊る	課題曲を聴いておく
10	12月15日	講義・演習	自分らしく踊る	曲を聴いておく
11	1月12日	講義・演習	人の踊りを見る	考察して見る
12	1月19日	講義・演習	後期学んだことを確認	曲を聴いておく
13	2月2日	講義・演習	テスト	学習のまとめ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			トレーニング必須	
【使用教科書・教材・参考書】				
ヒールorダンスヒール、スキンシューズ				

科目名	フィジカルトレーニング(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小島拓也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオ レッスンインストラクター 10年 スポーツクラブ レッスンインストラクター 5年						
授業の学習 内容	1 身体づくりのためのトレーニング方法 解剖学・食事・睡眠・運動(筋力トレーニング)を基礎から理解する。 2 ダンス・アクロバット・役者 などを目指すための体の基盤を作る。 3 自分の思い描く理想の身体を作り日々の習慣にする。 授業は解剖学(筋肉の仕組みや動き)を理解する事から初め、実際にその部位を動かし身体を使うということを体感する。合間に 人体のメカニズムや体作りに大切となる雑学などを説明する。						
到達目標	学生自身が授業で学んだことを習慣にし、自分で自分の身体をコントロールできるように 運動・食事・睡眠・メンタル面 等の必要性を実感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	クラスの説明・身体づくりの重要性・(解剖学)お腹 トレーニング・(雑学)食事	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
2	5月10日	講義・演習	前回の復習～脚(前 トレーニング・ホルモンについて	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
3	5月17日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・食事	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
4	5月24日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
5	5月31日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・運動するメリット	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
6	6月7日	講義・演習	前回の復習～脚(後) トレーニング・歪みとバランス	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
7	6月14日	講義・演習	前回の復習～全身(逆転) トレーニング・呼吸法	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
8	6月21日	講義・演習	前回の復習～お腹 トレーニング・習慣化	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
9	6月28日	講義・演習	前回の復習～脚(全 トレーニング・メンタル	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
10	7月5日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・機能解剖学・復習	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
11	7月12日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・食事&運動&睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
12	7月19日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・食事&運動&睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
13	8月23日	講義・演習	総復習(トレーニングと雑学)『テスト』	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して踊りに必要な筋力を意識する	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してトレーニングの大切さを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			次の授業までに、前回の授業の復習授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。	
【使用教科書・教材・参考書】				
筋肉のしくみ・はたらき事典				

科目名	フィジカルトレーニング(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小島拓也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオ レッスンインストラクター 10年 スポーツクラブ レッスンインストラクター 5年						
授業の学習 内容	1 身体づくりのためのトレーニング方法 解剖学・食事・睡眠・運動(筋力トレーニング)を基礎から理解する。 2 ダンス・アクロバット・役者 などを目指すための体の基盤を作る。 3 自分の思い描く理想の身体を作り日々の習慣にする。 授業は解剖学(筋肉の仕組みや動き)を理解する事から初め、実際にその部位を動かし身体を使うということを体感する。合間に 人体のメカニズムや体作りに大切となる雑学などを説明する。						
到達目標	学生自身が授業で学んだことを習慣にし、自分で自分の身体をコントロールできるように 運動・食事・睡眠・メンタル面 等の必要性を実感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	クラスの説明・身体づくりの重要性・(解剖学)お腹 トレーニング・(雑学)食事②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
2	10月11日	講義・演習	前回の復習～脚(前) トレーニング・ホルモンについて②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
3	10月18日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・食事②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
4	10月25日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
5	11月1日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・運動するメリット②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
6	11月8日	講義・演習	前回の復習～脚(後) トレーニング・歪みとバランス②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
7	11月15日	講義・演習	前回の復習～全身(逆転) トレーニング・呼吸法②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
8	11月22日	講義・演習	前回の復習～お腹 トレーニング・習慣化②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
9	11月29日	講義・演習	前回の復習～脚(全) トレーニング・メンタル②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
10	12月6日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・機能解剖学・復習②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
11	12月13日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・食事&運動&睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
12	12月20日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・食事・運動&睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
13	1月10日	講義・演習	総復習(トレーニングと雑学)『テスト』	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			次の授業までに、前回の授業の復習授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。	
【使用教科書・教材・参考書】				
筋肉のしくみ・はたらき事典				

科目名	アクロバット(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にアクロバット出演						
授業の学習 内容	具体的に自身で選んだ中～高難度の技を習得し、補助無しの実践。技が成功した時の達成感や、一つの難しいことにも繰り返し挑戦する意義を実感させる。主に前方系・後方系・側方系の中～高難度のマット運動。倒立歩行。筋力トレーニング・柔軟。カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習も行う。						
到達目標	男子も女子も補助無しでのバック転(後方転回跳び)またはバック宙(後方宙返り)またはハンドスプリング(前方転回跳び)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	前期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	4月27日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	5月11日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
4	5月18日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	体幹トレーニング
5	5月25日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
6	6月1日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	体幹トレーニング
7	6月8日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	体幹トレーニング
8	6月15日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技の説明～補助付きで体験	動画を撮影し、自己分析
9	6月22日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	体幹トレーニング
10	6月29日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	体幹トレーニング
11	7月6日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	体幹トレーニング
12	7月13日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
13	8月24日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して一度のみで技の成功の難しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して一度のみで技の成功の難しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	アクロバット(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にアクロバット出演						
授業の学習 内容	具体的に自身で選んだ高難度の技を習得し、補助無しの実践。技が成功した時の達成感や、一つの難しいことにも繰り返し挑戦する意義を実感させる。主に前方系・後方系・側方系の高難度のマット運動。倒立静止。筋力トレーニング・柔軟。タンブリング(連続技)。カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習も行う。						
到達目標	男子も女子も二つ以上のタンブリング(連続技)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	後期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	10月12日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	10月19日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
4	10月26日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
5	11月2日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	11月16日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
7	11月23日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の説明～体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
8	11月30日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	動画を撮影し、自己分析
9	12月7日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
10	12月14日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
11	12月21日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの説明～補助付きで体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
12	1月11日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの練習	動画を撮影し、自己分析
13	1月18日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの実践	動画を撮影し、自己分析
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通してを達成感・アクロバットが持つ魅力を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してを達成感・アクロバットが持つ魅力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	K-POP(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	佐藤彩香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	May J./伊藤千晃/D-LITE(from BIGBANG)/2NE1/SEUNGRI/lo(エルオーエル)/SPYAIR/関ジャニ∞/V6/GOW/剛力彩芽/etc... その他ツアー、イベント、MV、TV、CM等ダンサー出演						
授業の学習 内容	①身体のラインの見せ方を追求する。ボディコントロールの向上。 ②様々なジャンルに通ずる、綺麗な踊り方を求める。 ③個々の体型(スタイル)を把握し、自分の強みを理解してほしい。 ④ウォーキング・ポージングを中心とした基礎トレーニング。振付指導。						
到達目標	自分の体型にあった、身体の角度、見せ方、踊りを手に入れる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	自分のスタイルを理解する。	自分のスタイルを再認識する
2	4月28日	講義・演習	自分のスタイルを理解し、踊りに活かす。	スタイルに合わせた踊りを考える
3	5月12日	講義・演習	スタイルを活かした見せ方を研究する。	見せ方の研究のために映像資料を観る
4	5月19日	講義・演習	綺麗に見える角度を理解する。	綺麗に見える角度を研究する
5	5月26日	講義・演習	綺麗に見える角度を理解し、踊りに反映させる。	研究した事を踊りに活かすように意識して踊る
6	6月2日	講義・演習	綺麗な踊りができるように研究する。	ハッキリと踊る事を意識して練習
7	6月9日	講義・演習	ウォーキングを学びつつ、振付指導	ウォーキングの見せ方を研究する
8	6月16日	講義・演習	ウォーキングを学び、振付に反映させる。	振付の反復練習/研究
9	6月23日	講義・演習	自分にあったポージングを学ぶ。	ポージングのバリエーションを増やす
10	6月30日	講義・演習	ポージングを学びつつ、振付指導。	振付の反復練習/ポージング研究
11	7月7日	講義・演習	ダンスだけではなく、見せ方を学ぶ。	見せ方の研究/基礎トレーニング
12	7月14日	講義・演習	振付指導。基礎練習のまとめ。	振付の反復練習/基礎の応用練習
13	8月25日	講義・演習	指導した振付を自分のスタイルに合わせて踊る。	振付の反復練習/自分の踊りをチェックしておく
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してスタイルを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して見せ方を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでKPOPダンスを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	K-POP(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	佐藤彩香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	May J./伊藤千晃/D-LITE(from BIGBANG)/2NE1/SEUNGRI/ol(エルオーエル)/SPYAIR/関ジャニ∞/V6/GOW/剛力彩芽/etc... その他ツアー、イベント、MV、TV、CM等ダンサー出演						
授業の学習 内容	①身体のラインの見せ方を追求する。ボディコントロールの向上。 ②様々なジャンルに通ずる、綺麗な踊り方を求める。 ③個々の体型(スタイル)を把握し、自分の強みを理解してほしい。 ④ウォーキング・ポージングを中心とした基礎トレーニング。振付指導。						
到達目標	自分の体型にあった、身体の角度、見せ方、踊りを手に入れる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	振付の合わせ方を学ぶ。	振付の理解を深めておく
2	10月13日	講義・演習	周りの生徒と振付を合わせながら踊る。	自分と周りの人の踊りをチェックする
3	10月20日	講義・演習	振付を合わせながら、自分の個性を出す。	周りとの自分の踊りの違うところを探す
4	10月27日	講義・演習	振付に合わせた、綺麗な構成をつける。	映像資料で構成を研究する
5	11月3日	講義・演習	構成に合わせて踊ることを学ぶ。	振付と構成の関連性を理解する
6	11月17日	講義・演習	構成をつけて、踊り、周りとも合わせることを研究する。	様々なショーを観てみる
7	11月24日	講義・演習	音を理解して、振付を踊る。	音楽をよく聴くように意識する
8	12月1日	講義・演習	アクセントを理解して、振付を踊る。	アクセントの付けかたの研究
9	12月8日	講義・演習	はっきりと綺麗に音を取って踊る。	ハッキリと踊れるようにトレーニング
10	12月15日	講義・演習	振付の流れに沿って、自分で振付を考える。	自分の得意な動きを研究しておく
11	1月12日	講義・演習	自分の振付で音を理解し、しっかり踊ることができる。	自分で振付を作る事
12	1月19日	講義・演習	フリースタイルで踊ることができるように学ぶ。	フリーで踊る練習をする
13	2月2日	講義・演習	振付に沿って、フリースタイルで踊ることができる	トータルとして自分の踊りを理解し、実践する
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して綺麗な踊りを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して綺麗な踊りを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでKPOPダンスを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	テーマパークプロジェクト(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西川明宏 国光希沙 浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	西川:2006年~オリエントランド入社、4年間ダンサーとして出演。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。 国光:保健体育教員免許取得。2007年オリエントランドダンサーとして入社。現在現役ダンサーとして活躍中。 浅越:2011年~2015年、関東大手テーマパークにて、パレード、レギュラーショー等に出演。。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	前期終了までに到達させる目標を個人で決めてもらいそれに対する計画表を提出させる。 根本的な身体の土台を作る為基礎の習得に徹底する。 ジャンルレスに活躍して行く為により多くのダンススタイルを取り入れ習得させる。 個人の長所を伸ばし短所を克服していく方法を教え自ら維持していけるようメンタル面も指導する。 ダンスだけではなく様々なクリエイティブな時間を共有させてエンターテイナーとしての成長を促す。						
到達目標	①ショーダンスの基礎部分の習得。 ②自分でコントロール出来る身体と心を持つ。 ③個人目標の達成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	前期終了までの目標、それに対しての計画表の提出。	講師陣からの意見を取り入れ見直す。
2	4月28日	講義・演習	ショーダンス基礎編①(ジャズ)	手先、足先、細かい動きの反復練習を自主練にも組み込む。
3	5月12日	講義・演習	ショーダンス基礎編②(HIPHOP)	ジャズとは相反した動きを習得出来るように工夫する。
4	5月19日	講義・演習	ショーダンス基礎編③(民族舞踊)	ワールドダンスの映像やショーなどを見て予習。
5	5月26日	講義・演習	ショーダンス基礎編④(アンサンブルダンス)	テーマパークやミュージカルなどのアンサンブルダンサーの在り方を研究しておく。
6	6月2日	講義・演習	ショーダンス応用編①(振付の覚え方)	早くて確に覚える方法をメンタル面から分析しておく。
7	6月9日	講義・演習	ショーダンス応用編②(シメを覚える)	クラシックバレエのルーティーンを研究する。
8	6月16日	講義・演習	ショーダンス応用編③(2種類の振りを覚える)	難題に当たった時の自分の傾向を予め研究しておく。
9	6月23日	講義・演習	ショーダンス応用編④(表現の基礎)□	課題曲に対して自分の表現したい内容を決めておく。
10	6月30日	講義・演習	ショーダンス応用編⑤(表現の応用)□	課題曲に対して自分の表現したい内容をさらに掘り下げておく。
11	7月7日	講義・演習	模擬オーディション①	心身共に本番通りの設定で挑む。
12	7月14日	講義・演習	模擬オーディション②	心身共に本番通りの設定で挑む。
13	8月25日	講義・演習	模擬オーディション③	心身共に本番通りの設定で挑む。
14	9月1日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでテーマパークを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
JAZZシューズ・レオタード等				

科目名	テーマパークプロジェクト(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西川明宏 国光希沙 浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	西川:2006年~オリエントランド入社、4年間ダンサーとして出演。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。 国光:保健体育教員免許取得。2007年オリエントランドダンサーとして入社。現在現役ダンサーとして活躍中。 浅越:2011年~2015年、関東大手テーマパークにて、パレード、レギュラーショー等出演。現在は舞台上出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	後期終了までに到達させる目標を個人で決めてもらいそれに対する計画表を提出させる。 前期で習得した身体の土台をさらにスキルアップさせながら維持する。 プロダンサーとしての必要な技術、表現、メンタルの3つをバランス良く習得させる。 ダンスだけではなく様々なクリエイティブな時間を共有させてエンターテイナーとしての成長を促す。						
到達目標	①ショーダンスの応用部分の習得。 ②プロになる準備として様々な発表の場に立たせる。 ③個人目標の達成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期終了までの目標、それに対しての計画表の提出。	講師陣からの意見を取り入れ見直す。
2	10月13日	講義・演習	プロダンサー基礎編①(衣装を着こなす)	様々な衣装を着こなす為の研究。 自分に見合った方法を探す。
3	10月20日	講義・演習	プロダンサー基礎編②(音楽を表現する)	より効果的に見せるには音楽のどの部分を ヒットさせるか研究する。
4	10月27日	講義・演習	プロダンサー基礎編③(小道具を使う)	ショーダンスに欠かせない小道具を上手く使う為 には何が必要かを考える。
5	11月3日	講義・演習	プロダンサー基礎編④(メイク)	それぞれのキャラクターに合った舞台メイクを研究。 実際に動画で確認する。
6	11月17日	講義・演習	プロダンサー実演編①(theme park①)	決められたストーリーをアンサンブルダンサーとして 表現する。
7	11月24日	講義・演習	プロダンサー実演編②(theme park②応用)	決められたストーリーをキャラクターダンサーとして 表現する。
8	12月1日	講義・演習	プロダンサー実演編③(theme park③応用)	決められたストーリーをメインダンサーとして 表現する。
9	12月8日	講義・演習	プロダンサー実演編④(ミュージカル①)	決められたストーリーをダンス、歌、芝居で表現する。
10	12月15日	講義・演習	ショーダンス実演編⑤(ミュージカル②応用)	決められたストーリーをダンス、歌、芝居で表現する。
11	1月12日	講義・演習	模擬オーディション①	心身共に本番通りの設定で挑む。
12	1月19日	講義・演習	模擬オーディション②	心身共に本番通りの設定で挑む。
13	2月2日	講義・演習	模擬オーディション③	心身共に本番通りの設定で挑む。
14	2月9日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベントを実践してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでテーマパークを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
JAZZシューズ・レオタード等				

科目名	K-POP DANCE (3) HIPHOP D (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	須田和慎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元関東大手テーマパークダンサー、浦島坂田船、香取慎吾、等バックダンサー、インストラクター、振付師						
授業の学習 内容	プロダンサーとして必要最低限の基礎力、表現力を学ぶ。HIPHOPの振り付けだけではなくJAZZのようなラインの取り方や表現方法も授業の中で取り入れていき、マルチなパフォーマンスが出来るダンサーとしての技術や知識を身につけていく。またその学んだ事を自分のフィルターを通して人に伝えることの出来るダンサーになれるような授業を展開していく。						
到達目標	学生一人一人のなりたいダンサー、人間になれるようにサポートしていき個性を伸ばす。 また昨今は現場でも多様なジャンルを要求される事がありその為どの現場でも通用する様なマルチな表現者になれる様にする。学生が卒業後自立できる様に授業を通して個人の自主性を高めていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	授業の説明、アイソレーション(首、胸)の使い方を理解する。	自分の体と向き合い理解する。
2	5月10日	講義・演習	前回の復習、アイソレーション(腰、肩)の使い方を理解する。	授業の復習。自分の長所、短所を見つける。
3	5月17日	講義・演習	アイソレーションの確認、リズムの取り方を理解する。	授業の復習。様々な音楽を聴く。
4	5月24日	講義・演習	アイソレーション、リズムトレーニングを反復し深める。	授業の復習。一人でリズムにのる。
5	5月31日	講義・演習	ここまでの確認を含めた振り付けを行い習得する。	授業の復習。基礎トレーニングの意味を理解する。
6	6月7日	講義・演習	前ノリ、後ろノリの体の使い方を理解する。	授業の復習。体幹部の強化。
7	6月14日	講義・演習	ベーシックなステップを理解し習得する。	授業の復習。ステップのアレンジを研究する。
8	6月21日	講義・演習	基礎的な動きの確認と応用の振付を学び理解する。	授業の復習。YOUTUBE等で映像を観て研究する。
9	6月28日	講義・演習	更に躍り込み自分の長所を伸ばし、短所を克服する。	授業の復習。自分の踊っている映像を観て改善点を見つけ出す。
10	7月5日	講義・演習	体の基礎的な使い方を理解し自分なりの表現を取り入れる。	授業の復習。YOUTUBE等で資料を観て研究する。
11	7月12日	講義・演習	脱力、緩急、強弱を意識した表現を理解する。	授業の復習。自分の個性を理解し他人を受け入れる。
12	7月19日	講義・演習	シルエットを意識した振り付けで磨きかける。	授業の復習。団体での揃え方、協調性を大切にする。
13	8月23日	講義・演習	ここまでの復習と自分の好きな表現でダンスの楽しさを思い出す。	授業の復習。授業で得たことと後期への課題を理解する。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してステージングを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YOUTUBE等での資料研究、ストレッチ、体幹トレーニング。他ジャンルのレッスンの受講。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	K-POP DANCE (4) HIPHOP D(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	須田和慎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元関東大手テーマパークダンサー、浦島坂田船、香取慎吾、等バックダンサー、インストラクター、振付師						
授業の学習 内容	プロダンサーとして必要最低限の基礎力、表現力を学ぶ。HIPHOPの振り付けだけではなくJAZZのようなラインの取り方や表現方法も授業の中で取り入れていく為マルチなパフォーマンスが出来るダンサーとしての技術や知識を身につけていく。またその学んだ事を自分のフィルターを通して人に伝えることの出来るダンサーになれるような授業を展開していく。そしてプロとして活躍出来る様な振る舞い、マナー、メンタル等を授業の中で伝えていく。						
到達目標	学生一人一人のなりたいダンサー、人間になれるようにサポートしていき個性を伸ばす。 また昨今は現場でも多様なジャンルを要求される事がある為どの現場でも通用する様なマルチな表現者になれる様にする。 インストラクターとしても活躍出来る様に授業内で生徒達による授業や振り付けに対して構成を入れたリクリエイターとしてのセンスも磨く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	前期の復習、基礎的な動きの振り付けにアレンジを加える。	授業の復習。後期の目標設定を行う。
2	10月11日	講義・演習	振り付けは同じにして楽曲を変えて違ったアプローチを試みる。	授業の復習。楽曲事のフィーリングの違いを具現化し理解する。
3	10月18日	講義・演習	グループワーク①振り付けを生徒自ら考えて自分の意思を伝えられる様にする。	授業の復習。良い授業を行う為のノウハウを学ぶ。
4	10月25日	講義・演習	グループワーク②振り付けを生徒自ら考えて自分の意思を伝えられる様にする。	授業の復習。自分の体の感覚を言語化する。
5	11月1日	講義・演習	前回の授業のディスカッションを交えながら新しい振り付けを学ぶ。	授業の復習。改めて普段の授業から講師の発言等を意識する。
6	11月8日	講義・演習	パワーや勢いを意識した振り付けを学び習得する。	授業の復習。自分の筋力を理解する。
7	11月15日	講義・演習	ためや体の伸縮を意識した振り付けを学び習得する。	授業の復習。体幹部の強化、日常での重心や姿勢を気にする。
8	11月22日	講義・演習	大人っぽい妖艶な楽曲にあった表現を身につける。	授業の復習。世界観の作り方や仕草について考える。
9	11月29日	講義・演習	キャッチーな楽曲で体をはっきり大きく使う為の技術を学ぶ。	授業の復習。表情について思考し自分と向き合う。
10	12月6日	講義・演習	グループワーク③振り付けに構成の付け方を学ぶ。	授業の復習。YOUTUBE等で資料を研究する。
11	12月13日	講義・演習	グループワーク④振り付けに構成の付け方を学ぶ。	授業の復習。次の授業で披露するソロパフォーマンスを考える。
12	12月20日	講義・演習	総まとめの試験を行う。振り入れとソロパフォーマンスの成果発表。	全授業の復習をし成長したポイントを考える。
13	1月10日	講義・演習	試験の成果発表。今後ダンサーとして必要な知識を学ぶ。	一年を振り返り今後の自分の目標を設定する。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してステージングを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YOUTUBE等での資料研究、ストレッチ、体幹トレーニング。他ジャンルのレッスンの受講。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	creation (3) creation A (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についての	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
2	4月24日	講義・演習	コンセプトメイキング～ 作品づくり開始	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
3	5月8日	講義・演習	作品プレゼン(学年別) ★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。	プレゼン準備
4	5月15日	講義・演習	作品づくり(本振付)スタート	グループ組み
5	5月22日	講義・演習	各作品の細部指導/イベントの企画進行	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
6	5月29日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
7	6月5日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
8	6月12日	講義・演習	仮通し=イベント構成と指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
9	6月19日	講義・演習	止め通し	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
10	6月26日	講義・演習	作品の修正	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
11	7月3日	講義・演習	前期最終リハーサル ※2年も一緒▶稽古内容は直前に決定	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
12	7月10日	講義・演習	前期イベントの本番(日程等は仮)	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
13	8月21日	講義・演習	前期総括～後期作品 (We are TSM進級・卒制)の構想を始める	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (3) creation B (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についての	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
2	4月24日	講義・演習	コンセプトメイキング～ 作品づくり開始	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
3	5月8日	講義・演習	作品プレゼン(学年別) ★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。	プレゼン準備
4	5月15日	講義・演習	作品づくり(本振付)スタート	グループ組み
5	5月22日	講義・演習	各作品の細部指導/イベントの企画進行	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
6	5月29日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
7	6月5日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
8	6月12日	講義・演習	仮通し=イベント構成と指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
9	6月19日	講義・演習	止め通し	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
10	6月26日	講義・演習	作品の修正	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
11	7月3日	講義・演習	前期最終リハーサル ※2年も一緒▶稽古内容は直前に決定	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
12	7月10日	講義・演習	前期イベントの本番(日程等は仮)	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
13	8月21日	講義・演習	前期総括～後期作品 (We are TSM進級・卒制)の構想を始める	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (4) creation A (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の進行ガイダンス ～ 作品づくりの続き	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月9日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
3	10月16日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
4	10月23日	講義・演習	We are企画づくり、作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
5	10月30日	講義・演習	We are 企画進行、作品づくりツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
6	11月6日	講義・演習	We are 全体像ツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
7	11月13日	講義・演習	作品のつくりこみ、シーン繋ぎ、メンバー整理など	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
8	11月20日	講義・演習	舞台構成、演出作業(舞台の流れをつくる)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
9	11月27日	講義・演習	舞台構成、演出作業(細部の直し)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
10	12月4日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
11	12月11日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
12	12月18日	講義・演習	We are TSM 直前指導	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
13	1月15日	講義・演習	We are TSM 直前指導(細部の確認)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (4) creation B (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の進行ガイダンス ～ 作品づくりの続き	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月9日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
3	10月16日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
4	10月23日	講義・演習	We are企画づくり、作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
5	10月30日	講義・演習	We are 企画進行、作品づくりツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
6	11月6日	講義・演習	We are 全体像ツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
7	11月13日	講義・演習	作品のつくりこみ、シーン繋ぎ、メンバー整理など	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
8	11月20日	講義・演習	舞台構成、演出作業(舞台の流れをつくる)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
9	11月27日	講義・演習	舞台構成、演出作業(細部の直し)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
10	12月4日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
11	12月11日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
12	12月18日	講義・演習	We are TSM 直前指導	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
13	1月15日	講義・演習	We are TSM 直前指導(細部の確認)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				